

琉球芸能研究便覧（その一）

横 道 萬里雄

は し が き

1986年4月に沖縄県立芸術大学が開学し、同時に付属研究所が発足した。所員として任用されたわたくしは、研究所3部門の中の伝統芸能部門に所属し、研究を開始したが、その際にもっとも困ったのは、琉球芸能には総合的な概説の類が乏しいということだった。個別の問題についてのものなら、かずかずの優れた論文があり、著書も多いのだが、全体を見渡した研究の手引きは、ほとんど見当たらないのである。

たとえば、歌三線ウタサンシンと称する古典音楽は、工工四クンクンシーという楽譜に基づいて伝承され演奏されており、全曲の工工四を各流各派ごとに公刊している。琉球芸能の古典は、演劇にしても舞踊にしても、歌三線を基盤として演じられる。したがってその研究の際には、常に工工四を参照しなければならないのだが、工工四には索引というものが全くない。沖縄県在住の芸能研究者は、ほとんどの人が琉球芸能を専攻分野としているので、どの曲は第何巻の何ページへんにあるかということを記憶しているために、索引の必要をべつに感じないのであろう。

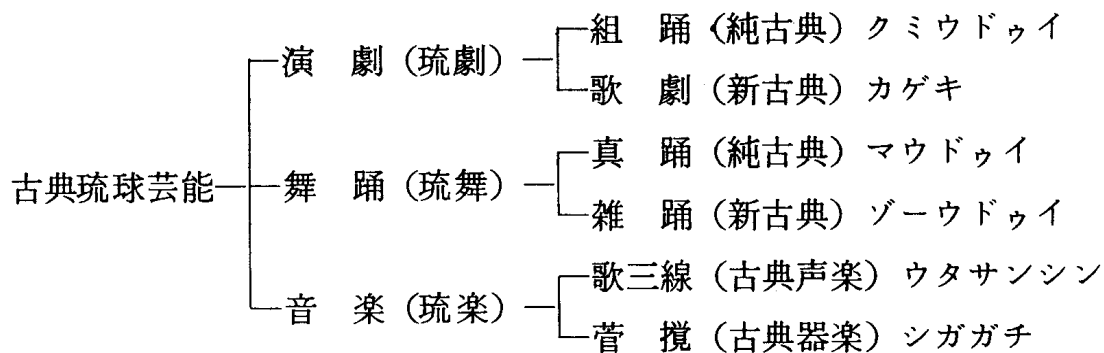
しかし、琉球芸能は沖縄県人の専有物ではない。組踊が重要無形文化財として国の総合指定を受け、琉舞が国主催の芸術祭で受賞したりすることでも分かるように、日本人全体の芸術的財産として、その価値が広く認められているのである。したがってその研究も、全日本的な芸能研究の一分野として行われることが望ましく、そのためには、本土の研究者の参加も必要であり、またそうあってこそ成果が期待できるものと考えられる。この便覧は、そうした研究者のために、わたくし自身の手控えの諸表を使いやすく編み直したものである。この号には「その一」として、工工四利用のための基礎的な表三つを収めた。

総 記

(一) 目的と範囲

この便覧は、演劇学・舞踊学・音楽学等の一般研究者の研究に便益を提供するものである。琉球芸能を専攻する者だけのために作成するものではない。したがって、専門の研究者には周知のことでも、一般の芸能研究者に必要と考えられる事項は、なるべく漏らさないことを方針とする。

琉球芸能には多くの種目があるが、この便覧では、いわゆる古典芸能に範囲を限定することにする。なにをさして古典芸能と称するかには、さまざまな意見があろう。いま仮に、国が重要無形文化財として指定したことのある種目を考えてみると、成立がもっとも新しい種目は、新派（保持者の死亡により現在は指定解除）である。この新派に相当する種目までを琉球の古典芸能と考えれば、歌劇（琉球歌劇）がここに含まれることになる。歌劇が古典芸能かどうかということについては、異論もあろう。しかし、間もなく百年に及ぶその歴史の中で、独自の様式を確立した芸能の一種目なのだから、これを含めることにして、この便覧で取り扱う範囲を次のように定めることにする。



以上の種目の中で、真踊という言葉はあまり一般的でないが、便利な熟語なので採用した。また、真踊と雑踊を合わせて端踊ハウドゥイと称し、組踊と対置させることがある。

なお、これら諸種目の構造の概要をここで述べておくべきであろうが、紙数にその余裕がない。これについては、別稿の「古典琉球芸能研究序説」(岩波講座『日本の音楽・アジアの音楽』所収の予定で執筆中)を参照していただきたい。

(二) 詞章の表記

歌三線や組踊の詞章は沖縄言葉の文語であって、本土言葉の文語とは異なる。そのことから来る表記上の問題もあるが、それよりも重大なのは、沖縄文語自体の表記法に、一定の規範が確立していないということである。

本土文語では、明治以降の学校教育との関わりの中で、いわゆる旧仮名遣いによる統一した表記法が普及した。現在でも、一般の刊行物の文語文では、この表記法が用いられている。ところが沖縄文語のばあいは、表記についての大きな約束はあっても、統一した規範となっていない。したがって、文献によってさまざまな表記が見られ、一般の人にとっては難解極まりない。その統一が当然必要だし、それについていくつかの方法が考えられる。しかしこの便覧は、詞章そのものの紹介が目的ではないので、とりあえず次のような項目だけ、仮の統一を行うことにした。この中には、将来変更が必要な部分が出てくるだろうということを、あらかじめお断りしておく。なお、沖縄文語の漢字表記部分については、総振り仮名とすべきだと考えているが、索引の見出し等の部分では、印刷の便宜上振り仮名を省略することにする。

- 工工四その他に示された実際の唱えかたに基づいて表記する。明らかな誤記のほかは、『琉歌全集』(後述)などによって改変することをしない。

- 自立語にはなるべく漢字を当てる。

太陽 (テダ) 離家 (アサギ) 潮舟 (スンニ)

- 付属語のうち次の語は次のように記す。

へ (イ) さへ (サイ) て (ティ) で (ディ) と (トゥ)

ど (ドゥ) の (ヌ) ぬ (ン) も (ン) よ (ユ) より (ユイ)

は (ワ)

- 用言の活用語尾については今後の検討をまつが、この「便覧」では発音どおりに記す。ただし、付属語の「て・で」に先立つ (ティ・ディ) は「て・で」と記す。

「立てて」(タティティ) (「立っていて」と記さない)

- 以上のほかは、発音どおりに記す。

(三) 発音について

沖縄文語は、首里王府を中心に形成されたものである。そのために、歌三線や組踊の詞章は、首里方言の音韻で唱えるのが正しいとされていて、工工四においても、そうした立場で詞章の表記がなされている。しかし実際には、正しい伝承がなかなか困難らしい。これは、集団稽古を主とする現在の伝承方法に問題があるのだと思うが、言語環境の変化もまた大きく影響している。

首里方言で育った人は今ではごく少数となり、それ以外は相当の年齢の人々でも、特に意識しないかぎり、正しい首里の音韻を発音できないらしい。中年以下の人々となると、共通語で話すのが少年時代からの慣習となっているので、首里方言と限らなくても、沖縄言葉そのものが身につけていないようである。それでも、古典の歌や唱エ（組踊のせりふ）の場合は、古格を保持すべきだという主張が納得できる。しかし、曲名や詞章を単に読みあげる場合にも、きちんと首里方言の音韻を守れというのは、もう無理なのが現状であるようだ。この現象は、かなり昔から進行していたのではないかと考えられるのだが、そう考える理由は長くなるのでここで述べない。

ともかくこの便覧では、意識せずには区別できない次の二項目については、一つのもののみならず、次のように表記することにする。

い (i, ʔi) う (u, ʔu) え (e, ʔe) お (o, ʔo) わ (wa, ʔwa)
 ん (n, ʔn) [ʔは声門破裂音]
 し (si, shi) じ (zi, ji) ち (tsi, chi)

なお (kwa) は「くぁ」と表記する。くい・くえ・ふぁ等と合わせるためにも、機器類のキーボードにない文字を避けるためにも、「くわ」としないほうがよいと考える。

発音を決定しにくいものに、曲名や術語の中の短音節・長音節の区別がある。たとえば、大田名節・本田名節・昔田名節の三曲の田名の二字は、工工四諸本で振り仮名が一樣でない。ダナともダーナとも記されて、本により曲により、また目次と本文内題によって、まちまちになっている。こうした場合は、この便覧では原則として短音節に統一して記し、特に異同を問題にしないことにした。蝶小節ハベルグァブシや芋之葉節ンムヌファブシの小グァや葉ファなどは、ロ

語の場合と同じく長音節に発音する人が多いかもしれないが、短音節に記すことにする。詞章以外の術語などの発音についても、すべてこのようにする。

なお、共通語で話される講演や放送においても、曲名は一般に沖縄読みにされる。しかし種目名や術語は、本土読みにされたり共通語に訳されたりする場合がある。たとえば、楽器の胡弓がクーチョーともコキューとも称され、三線がサンシンでなしに三味線と称されたりするなどである。

(四)「琉歌全集」について

琉歌とは、八八八六音の音数律の沖縄文語詩で、歌三線の曲の大部分は、琉歌を詞章とする。島袋盛敏・翁長俊郎の著書『琉歌全集』は、最大の琉歌の集成であるうえに、著者が首里方言の正しい体得者として信頼度が高いため、研究者にしばしば引用される。しかし、たとえば曲名の七尺節を七よみ節ナヌミブシと改変したり、白鳥節シルトウヤブシをシラトウイブシと読ませるなど、一般の工工四とは異なる点があり、これは詞章についても同様である。

こうした相違点について、工工四が崩れた形で『琉歌全集』が常に正しいと解釈するのは、早計と思われる。『琉球全集』は利用価値の高い労作に違いないが、素材とした原典を明記していないという大きな欠点があり、しかも内部に矛盾があることが、すでに指摘されている。また、著者独自の解釈で改変した場合に、一々断っているとはかぎらない不安が大きい。歌三線の詞章に関して『琉歌全集』を利用する研究者は、かならず実際の工工四等を参照するように望みたいと考える。

第一表 琉謡曲目一覧

凡 例

- ① この表は、歌三線の古典曲で現行している曲目のすべてを一覧し、あわせてその異名称・異呼称・異表記の主なものを知るための表である。
- ② この表は、次の現行工工四諸本に基づいて作成した。

協会本	野村流音楽協会で現在使用の工工四 書名：「(声楽譜付)工工四」 全四巻
保存会本	野村流古典音楽保存会で現在使用の工工四 書名：「野村流工工四」 全四巻
祖慶本	野村流古典音楽保存会所属の祖慶剛が著した横書き工工四 書名：「琉球古典音楽(野村流稽古本)」 全三巻
統絃会本	野村流松村統絃会で現在使用の工工四 書名：「(野村流)工工四」 全四巻
安富祖本	安富祖流絃声会で現在使用の工工四 書名：「(琉球古典音楽)安富祖流工工四」 全二冊 (上・中巻を一冊、下・続巻を一冊に合冊)

なお祖慶本と統絃会本は、次に掲げるような特殊な曲目を、独自に相当数収めているので、この二本のみに見られる曲目は、原則として除外した。

- (7)新作曲目 (イ)民謡曲目 (ウ)特殊な機会にのみ演奏された曲目
(エ)特殊な演奏形式のための曲目

- ③ この表は、全曲目を、通常の呼称に基づく五十音順に配列した。その際、長音の音尾(ーで表示)は、直前の音の母音とみなして配列した。また、(クァ)・(テイ)等の音は、二音のクア・テイと同じ扱いで配列した。なおこの「要覧」では、スイとシ、ズイとジ、ツイとチは、どちらもシ・ジ・チとして扱うことにし、声門破裂音の有無は無視することにした。(「総記」参照)。

- ④ この表には、次の項目を次の順序で記した。

曲目番号 曲目名称 曲目呼称 異名称・異表記・異呼称

- ⑤ 曲目番号は、五十音順に一連の番号を与えて三ケタの数字で示した。三線の調絃の違いその他による同名異曲は、それぞれに別番号を与え、次のように記した。

009~ 東 江 節(3)

012 東 里 節

これは、「東江節」に(本調子)(二揚)(アーキー)の3曲があるので、それぞれに009・010・011の番号を与えたことを示す。したがって、次順位にある「東里節」の曲目番号は、012となっているのである。

- ⑥ 曲目名称は、上記の諸本により、口説以外はすべて節の字を添え、その表記を次の原則で統一した。なお、本によって名称に相違がある次の五曲は、一般的なほうを採用した。(赤山節)(越来節)(さっく節)(四季口説)(万寿主節)

(7) 一本でも漢字表記のあるものは、それを採用した。

池 当 節 (池ん当節・池んたう節) としない

下 原 節 (そんばれ節) としない

- (i) 諸本とも仮名表記の曲名でも、妥当な漢字が当てられるものは、それを用いた。なお、字数の多い曲名等は、やや無理と思われても漢字を当てた。また、助詞の「の」には「之」を当てた。

特 牛 節 (こてい節) としない

真福地之杯觴節 (真福地のはいちやう節) としない

- (ii) 仮名表記を用いる場合は、平仮名を用い、発音どおりに記した。

しゅんどう節 (しよんだふ節・しよんどう節) としない

かじゃでい風節 (かぎやで風節) としない

- ⑦ 曲目呼称は片仮名で表わし、上記の諸本に基づいて発音どおりに記した。なお、本によって相違のある発音が記されている曲目は、他の曲目との整合や、歌の中での発音等を考えて、妥当なものを採用した。

- ⑧ 異名称・異表記・異呼称は、上記の諸本に基づき、その主なものをそれぞれに下記の記号を冠して示した。なお異名称・異表記については、「琉歌全集」の記載が相違しているものも加えた。

さ っ く 節 サックブシ □蒺藜垣節 □さっさあ節

諸 鈍 節 シュドゥンブシ ○諸屯節 ○しよどん節

安 波 節 アワブシ *アーブシ *アハブシ

- ⑨ 異名称、最初の音節の変わる異呼称、および難読の名称は、五十音各部の末尾につきのような形で再掲し、検索の助けとした。数字は曲目番号である。

【 イ 】 □いよのしい節 ⇒屋慶名節 ヤサガシ 217

*稲 真 積 節 仁マシガシ ⇒ンニマジンブシ 236

◁伊 野 波 節 ⇒ニューファブシ 177

琉 謡 曲 目 一 覧

【 ア 】

- | | | | |
|------|--------------|-------------|---------------------|
| 001 | 赤 木 名 節 | アカキナブシ | ○あかけな節 |
| 002 | 赤さ古巴梯斯節 | アカサクファディサブシ | ○赤さく(こ)はでさ節 |
| 003 | あ が さ 節 | アガサブシ | |
| 004~ | 赤 田 花 風 節(2) | アカタハナフーブシ | |
| 006 | 赤 田 風 節 | アカタフーブシ | |
| 007 | 暁 節 | アカチチブシ | |
| 008 | 赤 山 節 | アカヤマブシ | □赤山芋節 アヤマムブシ |
| 009~ | 東 江 節(3) | アガリイブシ | |
| 012 | 東 里 節 | アガリザトゥブシ | |
| 013 | 揚 口 説 | アギクドゥチ | |
| 014 | 揚 七 尺 節 | アギシチシャクブシ | |
| 015 | 揚 沈 仁 屋 久 節 | アギジンニャクブシ | □あじそいん節 |
| 016 | 揚 高 祢 久 節 | アギタカニクブシ | |
| 017 | 揚 作 田 節 | アギチクテンブシ | |
| 018 | 揚 芋 之 葉 節 | アギンムヌファブシ | |
| 019~ | 安 里 屋 節(2) | アサドーヤブシ | ○あさだうや節 |
| 021 | 遊 子 持 節 | アシビクアムチャーブシ | |
| 022 | 遊 諸 鈍 節 | アシビシュドゥンブシ | ○遊諸屯節 |
| 023 | 遊しょんがね節 | アシビションガネブシ | ○遊しやうんがない節 |
| 024 | 天 川 節 | アマカーブシ | |
| 025 | 綾 蝶 節 | アヤハベルブシ | |
| 026 | 安 波 節 | アワブシ | ○安和節
*アーブシ *アハブシ |

□赤山芋節 ⇒赤山節 アヤマブシ 008

□あじそいん節 ⇒揚沈仁屋久節 アギジンニャクブシ 015

□菠蘿垣節・あだね垣節 ⇒さっく節 092

□あやぐ節 ⇒とうがに節 トーガブシ 154

【 イ 】

- | | | | |
|-----|-----------|-----------|------------|
| 027 | 伊 江 節 | イイブシ | |
| 028 | 江 佐 節 | イサブシ | |
| 029 | 石 之 屏 風 節 | イシヌビョーブブシ | *イシヌミョーブブシ |
| 030 | 伊 集 之 木 節 | イジュヌキブシ | *ンジュヌキブシ |

- 031 伊集早作田節 イジュハイチクテンブシ *ンジュハイチクテンブシ
 032 石根之道節 イシンニーヌミチブシ ○石ん根の道節
 033 伊豆味節 イズミブシ
 034~ 伊計離節(2) イチハナリブシ
 036 池当節 イチントーブシ ○池んたう節
 037 出砂節 イディシナブシ
 038 今風節 イマフーブシ
 039 永良部節 イラブブシ
 □いよのしい節 ⇒屋慶名節 ヤキナシ 217
 *稲摺節 仁シリブシ ⇒ンニシリブシ 235
 *稲真積節 仁マジブシ ⇒ンニマジブシ 236
 ◁伊野波節 ⇒ニューファブシ 177
 ◁今帰仁之城節 ⇒ナチジンヌグシクブシ 174
 ◁芋之葉節 ⇒ンムヌファブシ 237
- 【 ウ 】
- 040 上原之島節 ウイバルヌシマブシ
 041 浮島節 ウキシマブシ
 042 宇地泊節 ウチドゥマイブシ
 043 打豆節 ウチマミブシ
 044 踊古巴梯斯節 ウドゥイクファディサブシ ○踊く(こ)はでさ節
 045 踊とうがに節 ウドゥイトーガニブシ ○踊たうがね節
 046 大兼久節 ウフガニクブシ
 047 大田名節 ウフダナブシ
 048 大浦節 ウフラブシ
 049 うふんしゃり節 ウフンシャリブシ □大阿母志良礼節 ウアマシラリブシ
 050 うみやから節 ウミヤカラブシ ○おめやから節 ○思やから節
 051 小禄豊見城節 ウルクティミグシクブシ
 052 荻堂口説 ウンジョークドゥチ
 053 恩納節 ウンナブシ
 □大阿母志良礼節 ⇒うふんしゃり節 049
- 【 エ 】
- 円覚寺節 ⇒垣花節 カキナゲシ 056
 ◁江佐節 ⇒イサブシ 028
 ◁永良部節 ⇒イラブブシ 039

【 オ 】

- ◁□大阿母志良礼節 ⇒うふんしゃり節 049
 ◁大 浦 節 ⇒ウフラブシ 048
 ◁大 兼 久 節 ⇒ウフガニクブシ 046
 ◁大 田 名 節 ⇒ウフダナブシ 047
 ◁荻 堂 口 説 ⇒ウンジョークドゥチ 052
 ◁踊古巴梯斯節・踊くはでさ節 ⇒ウドゥイクファディサブシ 044
 ◁踊とうがに節 ⇒ウドゥイトーガニブシ 045
 ◁おめやから節・思やから節 ⇒ウミヤカラブシ 050
 ◁御物奉行節 ⇒ Gumチブジョーブシ 079
 ◁小禄豊見城節 ⇒ウルクティミグシクブシ 051
 ◁恩 納 節 ⇒ウンナブシ 053

【 カ 】

- 054 通 水 節 カイミジブシ
 055 かじゃでい風節 カジャディフーブシ ○かぎやで風節
 ◻御前風節 ゲンフーブシ
 056 垣 花 節 カチヌハナブシ ◻円覚寺節 エンカジブシ
 ◻早謝武名節 ハヤジャンナブシ
 057 勝 連 節 カチリンブシ
 058 かなよう節 カナヨーブシ ○加那よう節
 059 川 平 節 カビラブシ
 060 亀 甲 節 カミクーブシ
 061 瓦 屋 節 カラヤブシ
 062 かんちゃい節 カンチャイブシ ○かんきやい節
 063 漢 那 節 カンナブシ

【 キ 】

- ◁□木 遣 節 ⇒はいゆええ節 ハイユーブシ 181
 ◁亀 甲 節 ⇒カミクーブシ 060
 ◁清屋節・きよらや節 ⇒チュラヤブシ 147
 ◁金 武 節 ⇒チンブシ 151

【 ク 】

- 064 子 持 節 クァムチャーブシ
 065 越 来 節 グィークブシ ◻越来よ節 グィークヨブシ
 066 御 縁 節 グインブシ ○ごゑ(え)ん節
 — 下 り 口 説 クダイクドゥチ ⇒□説 クドゥチ 068

- 067 特 牛 節 クティブシ ○こてい節
- 068.1 口 説 (上り) クドゥチ (ヌブイクドゥチ)
- 068.2 (下り) " (クダイ ~)
- 068.3 (万歳) " (マンザイ ~)
- 068.4 (十番) " (ジューバン ~)
- 068.5 (孝行) " (コーコー ~)
- 069~ 九 年 母 木 節(2) クニブンギブシ
- 071 久 仁 屋 節 クニャブシ ○くにや節
- 072 此 歌 三 線 節 クヌウタサンシンブシ ○この歌三味線節
- 073~ 小 浜 節(3) クバマブシ
- 076 久 米 阿 嘉 節 クミアカブシ
- 077 久 米 は ん た 前 節 クミハンタメーブシ
- 078 子 守 節 クムイブシ
- 079 御 物 奉 行 節 グムチブジョーブシ
- 080 小 六 節 クルクブシ ○くる(る)く節
- 081 黒 島 節 クルシマブシ
- 082~ 桑 挽 節(2) クワムイブシ ○桑むり節
- 084 く ん ぬ は し 節 クンヌハシブシ
- 085~ 古 見 之 浦 節(2) クンノーラブシ *クミヌウラブシ
- 越 来 よ 節 ⇒越来節 グイクブシ 065
- 御 前 風 節 ⇒かじゃでい風節 カジャディフブシ 055
- 久 高 万 寿 主 節 ⇒万寿主節 マンジュシュブシ 199~
- 小 橋 節 ⇒仲村渠節 ナカンカリブシ 173
- 国 頭 捌 理 節 ⇒はいゆええ節 ハイユブシ 181
- 【 ケ 】
- ◁□源 河 節 ⇒平敷節 フィシブシ 194
- 【 コ 】
- 孝 行 口 説 コーコークドゥチ ⇒口説 クドゥチ 068
- ◁□御 前 風 節 ⇒かじゃでい風節 カジャディフブシ 055
- ◁□小 橋 節 ⇒仲村渠節 ナカンカリブシ 173
- ◁越 来 節 ⇒グイークブシ 065
- ◁御 縁 節 ⇒グインブシ 066
- ◁特牛節・こてい節 ⇒クティブシ 067
- ◁此 歌 三 線 節 ⇒クヌウタサンシンブシ 072
- ◁小 浜 節 ⇒クバマブシ 073~

◁古見之浦節	⇒クンノーラブシ 085~
◁子持節	⇒クァムチャーブシ 064
◁御物奉行節	⇒ Gumチブジョーブシ 079
◁子守節	⇒クムイブシ 078
◁小禄豊見城節	⇒ウルクティミグシクブシ 051
◁小六節	⇒クルクブシ 080

【 サ 】

087	さあさあ節	サーサーブシ	
088	さいよう節	サイヨーブシ	○さいやう節
089	坂原口説	サカバルクドゥチ	*サカハラクドゥチ
090	坂本節	サカムトゥブシ	
091	崎山節	サチヤマブシ	
092	さっく節	サックブシ	□蒺藜垣節・あだね垣節 アダネガキ □さっさあ節
093	散山節	サンヤマブシ	
	□さっさあ節	⇒さっく節 092	
	◁さいんそる節	⇒せんする節 126	

【 シ 】

094	数珠節	ジジブシ	○ずず節
095	四季口説	シチクドゥチ	*シキクドゥチ □節口説 シチクドゥチ
096	七尺節	シチシャクブシ	□七よみ節 ナユミガシ
097	節節	シチブシ	○すき節
098	じっそう節	ジッソーブシ	○じつさう節
099	砂持節	シナムチブシ	
100	島尻天川節	シマジリアマカーブシ	
101	島尻千鳥節	シマジリチドゥリブシ	
102	謝敷節	ジャジチブシ	
103	しやぼう節	シヤプーブシ	○しいやぼう節
104	じゃんな節	ジャンナブシ	○ぢやんな節 ○謝武名節
105	首里節	シュイブシ	
106	十七八節	ジューシチハチブシ	
—	十番口説	ジューバンクドゥチ	⇒口説 クドゥチ 068
107	しゅうらあ節	シューラーブシ	○しほらあ節
108	しゅうらい節	シューライブシ	○しほらい節

- 109~ 述 懐 節(4) シュククエーブシ
- 113 諸 鈍 節 シュドゥンブシ ○諸屯節 ○しよどん節
- 114 収 納 奉 行 節 シュヌブジョーブシ
- 115 しゅんどう節 シュンドーブシ ○しよんだふ節○しよんどう節
- 116~ しよんがね節(3) ションガネブシ ○しやうんがない節
- 119 白 瀬 走 川 節 シラシハイカーブシ *シラシハイカワブシ
- 120 白 保 節 シラフブシ
- 121 白 鳥 節 シルトウヤブシ
- 122 沈 仁 屋 久 節 ジンニャクブシ □高覆盆子節 ヲ仔ユビシ
- 節 □ 説 ⇒四季口説 シクドゥチ 095
- しつちよう節 ⇒干瀬節 フィシシ 195
- 源 河 節 ⇒平敷節 フィシシ 194
- ◁下 原 節 ⇒スンバレーブシ 125
- ◁真福地之杯觴節 ⇒マフクジヌフェーチョーブシ 197
- 【 ス 】
- 123 其 万 歳 節 スヌマンザイブシ
- 124 す り か ん 節 スリカンブシ ○それかん節
- 125 下 原 節 スンバレーブシ ○そんばれ節
- ◁す き 節 ⇒シチブシ 097
- ◁数珠節・ずず節 ⇒ジジブシ 094
- ◁砂 持 節 ⇒シナムチブシ 099
- 【 セ 】
- 126 せ ん す る 節 センスルブシ ○さいんそ(ず)る節
- ◁□節 □ 説 ⇒四季口説 シクドゥチ 095
- ◁節 節 ⇒シチブシ 097
- 【 ソ 】
- ◁其 万 歳 節 ⇒スヌマンザイブシ 123
- ◁それかん節 ⇒スリカンブシ 124
- ◁下原節・そんばれ節 ⇒スンバレーブシ 125
- 【 タ 】
- 127 大 願 □ 説 ダイグァンクドゥチ
- 128 高 祢 久 節 タカニクブシ
- 129 高 橋 節 タカハシブシ ○高砦節 *タカバシブシ
- 130 高 離 節 タカハナリブシ
- 131 武 富 節 ダキドゥンブシ ○竹富節

- 132 竹 之 葉 節 ダキヌファブシ
 133 立 雲 節 タチクムブシ
 134 たぬむぞ節 タヌムゾブシ ○たのむぞ節

- 135~ 谷 茶 前 節(3) タンチャメーブシ
 □高 覆 盆 子 節 ⇒沈仁屋久節 シンニャクブシ 122
 ◁たを(う)がね節 ⇒トーガニブシ 154

【 チ 】

- 138 津 堅 節 チキンブシ
 139 作 田 節 チクテンプシ
 140 月 之 夜 節 チチヌユブシ □宮古根節 ナクニーフシ
 141 月 夜 浜 節 チチヤハマブシ
 142 千 鳥 節 チドゥリブシ
 143 繫 節 チナジブシ ○つなぎ節
 144 茶 屋 節 チャヤブシ
 145~ 中 作 田 節(2) チューチクテンプシ
 147 清 屋 節 チュラヤブシ ○きよらや節
 148 仲 順 節 チュンジュンブシ
 149 鶴 亀 節 チルカミブシ
 150 ち る り ん 節 チルリンブシ ○ちるれん節 □ならひ節
 151 金 武 節 チンブシ

□千 鳥 節(チジュヤーフシ) ⇒浜千鳥節 ハマチドゥリブシ 186 (142とは別曲)

□木 遣 節 ⇒はいゆええ節 ハイイーフシ 181

◁仲 道 節 ⇒ナカドーブシ 163

◁蝶 小 節 ⇒ハベルグァブシ 185

◁散 山 節 ⇒サンヤマブシ 093

◁沈 仁 屋 久 節 ⇒ジンニャクブシ 122

【 ツ 】

- 152 作 た る 米 節 ツクタルメーブシ
 ◁月 之 夜 節 ⇒チチヌユブシ 140
 ◁月 夜 浜 節 ⇒チチヤハマブシ 141
 ◁作 田 節 ⇒チクテンプシ 139
 ◁津 堅 節 ⇒チキンブシ 138
 ◁繫節・つなぎ節 ⇒チナジブシ 143
 ◁鶴 亀 節 ⇒チルカミブシ 149

【 テ 】

- 153 てんよう節 テンヨーブシ ○てんやう節
□天仁屋節 ティンニャブシ
□天仁屋節 ⇒てんよう節 テンヨーブシ 153
◁出砂節 ⇒イディシナブシ 037

【 ト 】

- 154 とうがに節 トーガニブシ ○たを(う)がね節 □あやぐ節
155~ 与那国しょんがね節(2) ドナンスンガニブシ
□どうかぬどう節 ⇒中之島節 ナカヌシマブシ 164
□とばらま節 ⇒仲道節 ナカドーブシ 163
◁通水節 ⇒カイミジブシ 054
◁道輪口説 ⇒ミチワクドゥチ 201

【 ナ 】

- 157 長伊平屋節 ナガイヒャブシ
158 中城はんた前節 ナカグシクハントアメーブシ *ナカグスクハントアメーブシ
□中城はんたま節 ナカグシクハントアマブシ
159 仲里節 ナカザトゥブシ
160 長じゃんな節 ナガジャンナブシ ○長ぢやんな節
161 長金武節 ナガチンブシ
162 仲泊節 ナカドゥマイブシ
163 仲道節 ナカドーブシ □とばらま節
164 中之島節 ナカヌシマブシ □どうかぬどう節
165~ 仲風節(5) ナカフーブシ
170 仲節 ナカブシ □長仲節 ナカガブシ
171 仲間節 ナカマブシ
172 仲良田節 ナカラタブシ ○なからた節 *ナガラタブシ
173 仲村渠節 ナカンカリブシ □小橋節 クハブシ
174 今帰仁之城節 ナチジンヌグシクブシ
175 南岳節 ナンダキブシ
□宮古根節 ⇒月之夜節 月ノヨブシ 140
□長仲節 ⇒仲節 ナカブシ 170
□七よみ節 ⇒七尺節 シチヤクブシ 096
□ならひ節 ⇒ちるりん節 チルリンブシ 150

【 ニ 】

- 176 宮城古巴梯斯節 ニャーグシククファディサブシ ○宮城く(こ)はでき節
*ナーグシク～
*ミャーグシク～
- 177 伊野波節 ニュファブシ
*ヌファブシ

【 ヌ 】

- 178 布晒節 ヌヌサラシブシ
- 上り口説 ヌブイクドゥチ ⇒口説 クドゥチ 068
- 179 むんふり節 ヌンフリブシ ○のんふり節
*伊野波節 ヌファブシ ⇒ニュファブシ 177

【 ノ 】

- ◁上り口説 ⇒ヌブイクドゥチ 068.1
- ◁のんふり節 ⇒ヌンフリブシ 179

【 ハ 】

- 180 早作田節 ハイチクテンブシ
- 181 はいゆええ節 ハイユエーブシ ○はいよやえ節
□木遣節 フヤイブシ
□国頭捌理節 クンジャンサバクイブシ
- 182 鷺之鳥節 バシヌトウリブシ
- 183 鳩間節 ハトウマブシ
- 184 花風節 ハナフーブシ □早稲真積節 ハヤンニマジンブシ
*ハビルグァブシ
- 185 蝶小節 ハベルグァブシ
- 186 浜千鳥節 ハマチドゥリブシ □千鳥節 フジュヤブシ
- 187 早嘉手久節 ハヤカディクブシ
- 188 早口説 ハヤクドゥチ
- 189 はやりぐええな節 ハヤリグエーナブシ ○はやりぐわいにや節
□早謝武名節 ⇒垣花節 フヤヌケブシ 056
□早稲真積節 ⇒花風節 ハナフーブシ 184

【 ヒ 】

- 190 辺野喜節 ビヌチブシ
- 191 比屋定節 ヒャージョーブシ
- 192 百名節 ヒャクナブシ
- ◁東江節 ⇒アガリイブシ 009～
- ◁東細節 ⇒フィガシクマブシ 193
- ◁東里節 ⇒アガリザトウブシ 012

- ◁干瀬節 ⇒フィシブシ 195
 【 フ 】
 193 東細節 フィガシクマブシ ○東こま節
 194 平敷節 フィシチブシ □源河節 シカガシ
 195 干瀬節 フィシブシ □しつちよう節
 ◁□節 口説 ⇒四季口説 シクドゥチ 095
 ◁節 節 ⇒シチブシ 097
 【 へ 】
 ◁平敷節 ⇒フィシチブシ 194
 ◁辺野喜節 ⇒ビヌチブシ 190
 【 マ 】
 196 松本節 マチムトウブシ
 197 真福地之杯觴節 マフクジヌフェーチョーブシ ○真福地のはいちやう節
 — 万歳口説 マンザイクドゥチ ⇒口説 クドゥチ 068
 198 万歳講主節 マンザイコーシブシ ○万歳かふ(う)節
 □やんざい講主節 ヤンザイコーシブシ
 199~ 万寿主節(2) マンジュージュブシ □久高万寿主節 クダマンジュージュブシ
 ◁前之田節 ⇒メーントブシ 213~
 ◁前之浜節 ⇒メーヌハマブシ 212
 【 ミ 】
 201 道輪口説 ミチワクドゥチ
 202 弥勒節 ミルクブシ
 ◁□宮古根節 ⇒月之夜節 チヌイブシ 140
 *港越節 ミトウクイブシ ⇒ンナトウクイブシ 233
 *港原節 ミトウハラブシ ⇒ンナトウハラブシ 234
 *宮城古巴梯斯節・宮城くはでさ節 ミヤークシククファディサブシ
 ⇒ニャークシククファディサブシ 176
 ◁南岳節 ⇒ナンダキブシ 175
 【 ム 】
 203~ 本伊平屋節(2) ムトウイヒャブシ
 205 本大浦節 ムトウウフラブシ
 206 本嘉手久節 ムトウカディクブシ
 207 本散山節 ムトウサンヤマブシ
 208 本田名節 ムトウダナブシ
 209 本花風節 ムトウハナフーブシ

- 210 本部長節 ムトッブナガブシ □本部抛節 ムトッナギブシ
- 211 むんじゅる節 ムンジュルブシ ○むんぢゆる節
□本部抛節 ⇒本部長節 ムトッナギブシ 210
◁□昔御前風節 ⇒稲真積節 ンマジンブシ 236
◁昔嘉手久節 ⇒ンカシカディクブシ 230
◁昔田名節 ⇒ンカシダナブシ 231
◁昔蝶節 ⇒ンカシハベラブシ 232
- 【メ】
- 212 前之浜節 メーヌハマブシ
- 213~ 前之田節(2) メーントブシ ○前ん田節
- 【モ】
- ◁□本部抛節 ⇒本部長節 ムトッナギブシ 210
◁本伊平屋節 ⇒ムトウイヒャブシ 203~
◁本大浦節 ⇒ムトウウフラブシ 205
◁本嘉手久節 ⇒ムトウカディクブシ 206
◁本散山節 ⇒ムトウサンヤマブシ 207
◁本田名節 ⇒ムトウダナブシ 208
◁本花風節 ⇒ムトウハナフーブシ 209
◁本部長節 ⇒ムトッブナガブシ 210
- 【ヤ】
- 215 やえんさ節 ヤエンサブシ
- 216 屋慶名古巴梯斯節 ヤキナクファディサブシ ○屋慶名く(こ)はでさ節
- 217 屋慶名節 ヤキナブシ □いよのしい節
- 218 やぐざい節 ヤグザイブシ
- 219 柳節 ヤナジブシ
- 220 やりくぬし節 ヤリクヌシブシ ○やりこのし節
□やんざい講主節 ⇒万歳講主節 マンザイゴシブシ 198
- 【ユ】
- 221 夜雨節 ユアマミブシ *ユルアマミブシ
- 222 与儀前之田節 ユージメーントブシ ○与儀前ん田節
- 223 世栄節 ユザカイブシ *ユザケーブシ □世なをり節
- 224 ゆしゃいのう節 ユシャイノーブシ ○よしやいなう節
- 225 与那覇節 ユナハブシ
- 226 与那原節 ユナバルブシ
- 227 与那節 ユナブシ

- 228 ゆらていく節 ユラティクブシ ○よらてく節
- 229 読谷山節 ユンタンザブシ
- 世なをり節 ⇒世栄節 ヲザイブシ 223
- 【ヨ】
- ◁□世なをり節 ⇒世栄節 ヲザイブシ 223
- ◁夜雨節 ⇒ユアミブシ 221
- ◁与儀前之田節 ⇒ユージメーントブシ 222
- ◁世栄節 ⇒ユザカイブシ 223
- ◁よしやいなう節 ⇒ユシャイノーブシ 224
- ◁与那国しょんがね節 ⇒ドナンスンガニブシ 155~
- ◁与那覇節 ⇒ユナハブシ 225
- ◁与那原節 ⇒ユナバルブシ 226
- ◁与那節 ⇒ユナブシ 227
- ◁読谷山節 ⇒ユンタンザブシ 229
- ◁よらてく節 ⇒ユラティクブシ 228
- 【ワ】
- ◁鷺之鳥節 ⇒バシヌトウリブシ 182
- 【ン】
- 230 昔嘉手久節 ンカシカディクブシ
- 231 昔田名節 ンカシダナブシ
- 232 昔蝶節 ンカシハベラブシ
- 233 港越節 ンナトウクイブシ ○湊くり節 *ミナトウクイブシ
- 234 港原節 ンナトウハラブシ ○湊原節 *ミナトウバルブシ
- 235 稲摺節 ンニシリブシ *イニシリブシ
- 236 稲真積節 ンニマジンブシ *イニマジンブシ
- 昔御前風節 ンカシガシマブシ
- 237 芋之葉節 ンムヌファブシ
- 昔御前風節 ⇒稲真積節 ンニマジンブシ 236
- *伊集之木節 ンジュヌキブシ ⇒イジュヌキブシ 030
- *伊集早作田節 ンジュハイチクテンブシ ⇒イジュハイチクテンブシ 031

第二表 琉謡工工四索引

凡 例

① この表は、琉謡の各曲目が、工工四現行諸本のどの部分に収載されているかを知るための索引である。なお参考のために、主要な工工四古本（屋嘉比工工四と欽定工工四）および「琉歌全集」における所在も付記した。

② この表には、次の諸項目を、次の順序で掲げた。

曲目番号 第一表「琉謡曲目一覧」の通し番号に合わせた。

曲目名称 第一表「琉謡曲目一覧」の見出しの名称に合わせた。なお、三線の調絃の違いその他による同名異曲は、A・B・C等を添えて区別し、()の中に簡単な注記を加えた。

所在位置 巻序数の次にページ数を三ケタの数字で記した。

2-003 第2巻の第3ページ

なお、二箇所以上に所在する場合は、それを併記した。また、古本は Y (屋嘉比本) K (欽定本) の記号のみを記した。本により、この表の見出しと異なる曲目名称を用いている場合は、*印を添えた。

③ この表に用いた諸本の略号と、巻序数の表示は、次のとおりである。

協会本 (協) 野村流音楽協会で現在使用の工工四

1 : 上巻 2 : 中巻 3 : 下巻 4 : 続巻

保存会本 (保) 野村流古典音楽保存会で現在使用の工工四

1 : 上巻 2 : 中巻 3 : 下巻 4 : 拾遺

祖慶本 (祖) 野村流古典音楽保存会の祖慶剛著の横書き工工四

1 : 第一巻 2 : 第二巻 3 : 第三巻

統絃会本 (統) 野村流松村統絃会で現在使用の工工四

1 : 上巻 2 : 中巻 3 : 下巻 4 : 拾遺集

5 : 組踊節組集 (拾遺集と合冊でページは別立て)

安富祖本 (安) 安富祖流絃声会で現在使用の工工四

1 : 上巻・中巻の合冊 2 : 下巻・続巻の合冊

古本	(古)	古本の工工四
屋嘉比本	(Y)	屋嘉比朝寄が十八世紀に編んだと伝える工工四
欽定本	(K)	王命で野村安超等が明治初年に完成した工工四 その拾遺も便宜上同じに扱った。
琉歌全集	(全)	島袋盛敏・翁長俊郎が著した琉歌の集成(一冊)

④ この表の見出しと異なる曲目名称を用いているものは、次のとおりである。

006	赤田風節	————	仲風節に包摂(全)
008	赤山節	————	赤山芋節(安)
016	揚高祢久節	————	高祢久節に包摂(全)
018	揚芋之葉節	————	芋之葉節に包摂(全)
038	今風節	————	伊平屋節(Y)
	"	————	仲風節に包摂(全)
055	かじゃでい風節	—	御前風節(Y)
056	垣花節	————	昔御前風節(Y)
065	越来節	————	越来よ節(祖)
077	久米はんた前節	—	阿嘉はんたま節(Y)
092	さっく節	————	蒺藜垣節・あだね垣節(統・全)
095	四季口説	————	節口説(協・K)
096	七尺節	————	七よみ節(全)
122	沈仁屋久節	————	高覆盆子節・たかいちよびや節(全・Y)
153	てんよう節	————	天仁屋節(全)
158	中城はんた前節	—	中城はんたま節(Y)
194	平敷節	————	源河節(全)
195	干瀬節	————	干瀬仁居鳥節(Y)
196	松本節	————	獅子也舞節(Y)
199	万寿主節	————	久高節(Y)
	"	————	久高万寿主節(祖)
217	屋慶名節	————	いよのしい節(Y)
232	昔蝶節	————	蝶節(Y)
236	稲真積節	————	昔御前風節(Y)

琉 謡 工 工 四 索 引

	【ア】	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
001	赤木名節	—	—	—	4-038	2-255	- K	250
002	赤さ古巴梯斯節	1-076	1-072	1-053	1-028	1-058	Y K	066
003	あがさ節	1-074	1-066	2-057	1-034	1-054	Y K	090
004	赤田花風節A	4-073	4-030	3-003	3-084	2-039	- -	250
005	赤田花風節B (別曲)	—	4-098	—	—	—	- -	↓
006	赤田風節	2-132	2-132	2-137	2-086	1-221	- K	*197
007	暁節	2-019	2-020	2-037	2-047	1-107	Y K	111
008	赤山節	—	—	—	4-077	*2-236	- -	—
009	東江節A (本調子)	2-118	2-112	2-127	2-031	1-202	Y K	126
010	東江節B (二揚)	3-036	3-037	3-063	5-007	2-132	- K	↓
011	東江節C (アキ)	3-039	3-040	3-065	5-009 5-027	2-135	- K	↓
012	東里節	3-056	3-058	3-005	3-082	2-038	Y K	253
013	揚口説	4-028	4-062	3-018	3-026	2-112	Y K	—
014	揚七尺節	3-014	3-023	1-097	—	2-020	- K	102
015	揚沈仁屋久節	4-005	4-004	1-070	1-062 5-029	2-068	- K	164
016	揚高祢久節	4-013	4-007	1-039	1-053	2-071	- K	*164
017	揚作田節	1-052	1-053	3-001	3-080	1-083	Y K	037
018	揚芋之葉節	—	3-056	3-034	3-117	2-234	- -	*095
019	安里屋節A (本調子)	—	—	—	—	2-191	- K	190
020	安里屋節B (二揚)	—	—	3-137	—	—	- -	↓
021	遊子持節	3-033	3-034	3-069	5-042	2-027	- K	—
022	遊諸鈍節	4-080	4-096	—	4-058	2-197	- K	111
023	遊しょんがね節	4-075	4-028	1-078	1-063	2-188	- K	183

		(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
024	天川節	2-092	2-093	2-101	2-020	1-175	Y K	116
025	綾蝶節	3-069	3-075	3-076	5-035	2-155	Y K	172
026	安波節	3-080	3-068	3-088	4-008	2-031	Y K	185
【 イ 】								
027	伊江節	1-067	1-063	1-065	1-058	1-044	- K	089
028	江佐節	4-007	4-034	3-043	3-060	2-077	Y K	170
029	石之屏風節	3-085	3-079	—	4-064	2-256	- K	180
030	伊集之木節	3-078	3-077	1-077	4-110	2-157	- K	052
031	伊集早作田節	2-070	2-05	2-069 3-049	1-076	2-135	Y K	045
032	石根之道節	1-055	1-056	1-051	1-047	1-047	Y K	—
033	伊豆味節	3-025	3-026	—	—	2-054	- K	160
034	伊計離節A (本調子)	4-037	4-043	3-051	4-044 5-026	2-080	Y K	250
035	伊計離節B (二揚又三下)	—	—	—	—	2-266	- -	↓
036	池当節	3-059	3-061	3-070	5-003	2-073	Y K	166
037	出砂節	1-032	1-031	1-015	1-051	1-031	Y K	223
038	今風節	2-135	2-134	2-140	2-081	1-224	*Y K	*197
039	永良部節	2-077	2-078	1-063	2-089	1-160	Y K	268
【 ウ 】								
040	上原之島節	—	—	—	—	2-204	- K	—
041	浮島節	3-028	3-029	3-009	3-091	2-046	- K	266
042	宇地泊節	3-067	3-070	3-071	5-046	2-034	- K	171
043	打豆節	3-060	3-062	—	4-071	2-076	- K	242
044	踊古巴梯斯節	1-070	1-068	1-033	1-042	1-063	- K	067
045	踊とうがに節	—	—	—	—	2-258	- -	—
046	大兼久節	1-024	1-024	2-023	1-014	1-024	Y K	052

	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
047 大田名節	1-069	1-062	1-047	1-026	1-053	Y K	104
048 大浦節	3-057	3-059	3-075	5-016	2-064	Y K	194
049 うぶんしゃり節	4-033	4-068	3-023	3-055	2-123	Y K	—
050 うみやから節	4-087	4-088	3-090	4-030	2-231	- K	296
051 小禄豊見城節	—	—	—	—	2-211	- -	—
052 荻堂口説	3-035	3-036	3-082	5-022	2-115	- K	—
053 恩納節	1-004	1-004	1-003	1-004	1-004	Y K	008
【カ】							
054 通水節	2-108	2-108	2-123	5-004	1-191	Y K	124
055 かじゃでい風節	1-001	1-001	1-001	1-001	1-001	*Y K	001
056 垣花節	4-002	4-003	1-069	1-061	2-065	*Y K	162
057 勝連節	3-081	3-086	3-086	4-031	2-061	- K	182
058 かなよう節	—	—	3-054	4-124	2-243	- -	255
059 川平節	4-057	4-082	3-061	4-017	2-189	- K	192
060 亀甲節	4-038	4-077	—	4-045	2-049	- K	178
061 瓦屋節	1-035	1-034	〔1-055 2-041〕	〔1-019 3-101〕	1-057	Y K	092
062 かんちゃい節	4-045	4-076	—	—	2-161	Y K	179
063 漢那節	—	—	—	4-036	2-230	- K	225
【ク】							
064 子持節	3-002	3-002	1-080	3-004	2-002	Y K	134
065 越来節	—	—	*3-060	4-032	2-248	- K	—
066 御縁節	1-046	1-046	1-048	1-020	1-079	- K	098
— 下り口説	(⇒口説 068)						
067 特牛節	1-007	1-008	1-011	1-009	1-007	Y K	018
068.1 口説(上り)	4-019	4-051	3-014	3-036	2-087	Y K	—

		(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
068.2	口 説 (下り)	↓	↓	↓	↓	↓		
068.3	口 説 (万歳)	↓	↓	↓	↓	↓		
068.4	口 説 (十番)	↓	↓	↓	↓	↓		
068.5	口 説 (孝行)	↓	↓	↓	↓	↓		
069	九年母木節A	—	—	—	4-087	2-216	- K	—
070	九年母木節B	—	—	—	—	2-217	- -	—
	(別曲)							
071	久仁屋節	1-021	1-020	1-043	1-044	1-020	Y K	049
072	此歌三線節	—	—	—	—	2-228	- K	—
073	小浜節A	4-083	—	—	—	2-180	- K	227
	(本調子)							
074	小浜節B	—	4-079	—	—	2-182	- -	↓
	(二揚)							
075	小浜節C	—	—	—	—	2-184	- -	↓
	(二揚下出)							
076	久米阿嘉節	4-064	4-029	3-095	4-055	1-183	- K	188
077	久米はんた前節	3-066	3-069	3-094	4-050	2-062	*Y K	018
078	子守節	4-071	4-078	3-093	4-010	2-202	Y K	—
079	御物奉行節	—	—	—	4-026	2-240	- K	—
080	小六節	4-085	4-090	3-097	4-098	2-205	- K	—
081	黒島節	4-066	4-044	3-007	3-086	2-041	- K	—
082	桑挽節A	—	—	—	—	2-195	- K	246
	(本調子)							
083	桑挽節B	—	—	—	4-106	—	-	—
	(三下)							
084	くんぬはし節	—	—	—	—	2-175	- -	—
085	古見之浦節A	3-021	3-018	1-093	4-080	2-176	- K	264
	(二揚)							
086	古見之浦節B	—	—	—	—	2-178	- -	↓
	(一揚)							
	【コ】							
—	孝行口説				(⇒口説068)			

	【 サ 】	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
087	さあさあ節	3-026	3-027	1-096	3-022	2-055	- K	161
088	さいよう節	4-086	4-086	3-091	4-101	2-222	- K	—
089	坂原口説	3-031	3-032	3-012	3-105	2-058	- K	—
090	坂本節	1-044	1-044	1-049	1-046	1-042	Y K	087
091	崎山節	4-072	4-080	—	4-093	2-228	- K	—
092	さっく節	4-076	4-087	—	*4-079	—	- K	192
093	散山節	3-004	3-005	1-081	3-006	2-004	Y K	*265 136
	【 シ 】							
094	数珠節	3-073	3-083	—	4-072	2-036	Y K	174
095	四季口説	*4-023	4-056	3-017	3-028	2-104	- *K	—
096	七尺節	3-013	3-021	1-095	3-020	2-018	Y K	*099
097	節節	2-069	2-033	2-049	3-067	2-075	Y K	278
098	じっそう節	3-084	3-082	3-089	4-102	2-060	- K	165 182
099	砂持節	4-086	4-091	3-096	4-041	2-219	- K	189
100	島尻天川節	—	4-092	—	4-127	2-250	- K	118
101	島尻千鳥節	—	—	—	—	2-247	- -	—
102	謝敷節	1-011	1-012	1-019	1-021	1-011	Y K	024
103	しやぶう節	—	—	—	5-044	2-210	- -	272
104	じゃんな節	2-006	2-007	2-017	2-039	1-094	Y K	105
105	首里節	2-010	2-012	2-025	2-041	1-099	Y K	107
106	十七八節	2-061	2-068	2-083	2-073	1-150	Y K	114
—	十番口説		(⇒口説 068)					
107	しゅうらあ節	3-075	3-084	—	4-063	2-085	- K	—
108	しゅうらい節	3-076	3-081	—	4-103	2-173	Y K	175
109	述懐節A (本調子)	2-130	2-129	2-115	2-080	1-219	- K	144

		(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
110	述 懐 節B (本調子下出)	4-079	4-026	2-121	2-094	—	- K	↓
111	述 懐 節C (二揚)	3-009	3-010	1-087	3-012	2-013	- K	↓
112	述 懐 節D (二揚下出)	3-052	3-053	1-101	3-014	2-015	- K	↓
113	諸 鈍 節	2-014	2-016	2-031	2-044	1-103	Y K	110
114	収納奉行節	—	—	—	4-034	2-212	- K	—
115	しゅんどう節	4-040	4-046	3-037	3-094	2-150	Y K	027
116	しょうがね節A (本調子)	4-018	4-010	1-058	3-102	2-084	Y K	274
117	しょうがね節B (二揚)	3-046	3-046	—	4-114	—	- K	↓
118	しょうがね節C (二揚上出)	3-047	3-047	—	4-115	—	- K	↓
119	白瀬走川節	1-018	1-017	1-023	3-068	1-018	Y K	046
120	白保節	—	4-095	—	4-018	2-208	- K	—
121	白鳥節	3-017	3-015	1-091	3-018	2-021	Y K	226
122	沈仁屋久節	4-004	4-072	—	4-136	2-067	*Y K	163 *247
	【 ス 】							
123	其万歳節	—	—	—	4-105	2-207	Y K	248
124	すりかん節	4-043	4-048	3-038	3-096	2-153	Y K	027
125	下原節	4-067	4-045	3-008	3-088	2-042	- K	—
	【 セ 】							
126	せんする節	4-035	4-070	3-025	3-056 5-028 5-056	2-125	- K	—
	【 タ 】							
127	大願口説	4-029	4-063	3-080	5-019	2-113	- K	—
128	高祢久節	4-011	4-006	—	4-062	2-070	Y K	164
129	高橋節	—	—	—	4-021	2-168	- K	187
130	高離節	4-014	4-074	3-036	4-040	2-162	Y K	173
131	武富節	4-068	4-042	3-031	3-070	2-169	- K	280

	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
132 竹之葉節	—	—	—	4-053	2-193	- K	—
133 立雲節	3-020	3-014	1-090	3-017	2-017	Y K	155
134 たぬむぞ節	3-045	3-044	3-044	4-011	2-213	- K	249
135 谷茶前節A (本調子)	—	—	—	4-096	2-264	- K	—
136 谷茶前節B (二揚)	—	—	3-052	—	—	- -	—
137 谷茶前節C (二揚又三下)	—	—	—	—	2-265	- -	—
【チ】							
138 津堅節	3-071	3-072	3-077	5-036	2-159	- K	169
139 作田節	2-001	2-002	2-005	2-036	1-089	Y K	035
140 月之夜節	—	—	3-035	—	2-235	- -	—
141 月夜浜節	—	—	3-127	—	2-260	- K	—
142 千鳥節	—	—	—	—	2-209	- K	—
143 繫節	1-040	1-040	1-045	3-076	1-081	- K	099
144 茶屋節	2-024	2-025	2-043	2-050	1-113	Y K	113
145 中作田節A	4-058	4-032	3-047	3-064	2-138	- K	039
146 中作田節B (別曲)	4-082	—	—	—	—	- -	↓
147 清屋節	2-072	2-066	2-082	3-077	2-029	Y K	257
148 仲順節	1-036	1-036	2-029	1-016	1-034	Y K	070
149 鶴亀節	—	—	—	4-015	2-043	- -	—
150 ちるりん節	1-048	1-048	2-108	1-024	1-040	Y K	086
151 金武節	1-015	1-026	1-017	1-038	1-014	Y K	030
【ツ】							
152 作たる米節	—	—	—	4-023	2-192	Y K	247
【テ】							
153 てんよう節	—	—	—	4-056	2-166	- K	*231

	【 ト 】	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
154	とうがに節	3-047	3-048	—	4-089	—	- K	279
155	与那国しょんがね節A	—	—	—	—	2-185	- -	—
156	与那国しょんがね節B (別曲)	—	—	—	4-116	—	- -	—
	【 ナ 】							
157	長伊平屋節	2-104	2-100	1-005	2-025	1-187	Y K	021
158	中城はんだ前節	1-006	1-006	1-009	1-008	1-006	*Y K	014
159	仲里節	4-046	4-038	3-027	1-035	2-128	Y K	179
160	長じゃんな節	2-039	2-041	2-059	2-059	1-128	Y K	107
161	長金武節	4-054	4-021	3-073	5-012	2-144	Y K	034
162	仲泊節	3-040	3-041	—	—	2-189	- K	186
163	仲道節	—	—	—	4-112	2-203	- K	—
164	中之島節	—	—	—	—	2-268	- -	—
165	仲風節A (本調子)	2-126	2-126	2-111	2-077	1-210	- K	197
166	仲風節B (本調子下出)	4-076	4-024	2-117	2-092	—	- K	↓
167	仲風節C (二揚)	3-006	3-007	1-083	3-007	2-007	- K	↓
168	仲風節D (二揚下出)	3-050	3-050	1-099	3-010	2-010	- K	↓
169	仲風節E (本調子別曲)	—	3-089	—	—	—	- K	↓
170	仲節	2-047	2-052	2-071	2-065	1-136	Y K	114
171	仲間節	1-038	1-038	1-025	1-040	1-036	Y K	073
172	仲良田節	4-017	4-008	1-057	3-100	2-082	- K	282
173	仲村渠節	1-029	1-028	1-027	2-024	1-026	Y K	054
174	今帰仁之城節	—	—	—	4-046	2-215	- K	187
175	南岳節	4-039	4-041	3-032	3-072	2-127	- K	182
	【 ニ 】							
176	宮城古巴梯斯節	4-050	4-012	1-073	1-070	2-140	- K	068

	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
177 伊野波節	2-121	2-121	2-001	2-029	1-206	Y K	131
【ヌ】							
178 布晒節	—	—	—	4-020	2-130	- K	—
— 上り口説		(⇒口説 068)					
179 ぬんぶり節	—	4-085	—	4-085	2-170	- K	—
【ハ】							
180 早作田節	1-012	1-013	2-015	1-012	1-012	Y K	041
181 はいゆええ節	3-049	3-050	3-045	4-042	2-218	- K	—
182 鷺之鳥節	—	—	3-126	4-012	2-238	- K	—
183 鳩間節	4-084	4-081	3-131	4-013	2-165	- K	—
184 花風節	1-058	1-075	1-041	1-064	1-069	- K	119
185 蝶小節	3-055	3-058	3-046	3-075	2-074	- K	230
186 浜千鳥節	3-042	3-045	3-029	4-108	2-241	- K	190
187 早嘉手久節	—	—	—	4-088	2-253	- K	—
188 早口説	4-021	4-053	3-081	3-023	2-099	Y K	—
189 はやりぐええな節	3-064	3-063	—	4-068	2-032	- K	—
【ヒ】							
190 辺野喜節	1-022	1-022	1-014	1-006	1-022	Y K	028
191 比屋定節	2-116	2-119	2-135	5-051	1-200	- K	126
192 百名節	3-016	3-017	1-098	4-066	2-048	Y K	158
【フ】							
193 東細節	2-074	2-075	1-059	2-088	1-157	Y K	114
194 平敷節	1-016	1-016	1-021	1-022	1-016	Y K	221
195 千瀬節	3-001	3-001	1-079	3-002	2-001	*Y K	*260 232

	【マ】	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
196	松本節	3-082	3-087	3-053	4-005	2-024	*Y K	178
197	真福地之杯觴節	1-079	1-083	1-037	1-056	1-066	Y K	096
—	万歳口説		(⇒口説 068)					
198	万歳講主節	4-031	4-065	3-021	3-054	2-120	- K	—
199	万寿主節A	—	—	—	4-047	2-201	*Y K	—
200	万寿主節B (別曲)	—	—	*3-101	—	—	- -	—
	【ミ】							
201	道輪口説	4-025	4-058	3-019	3-032	2-105	- K	—
202	弥勒節	4-085	4-088	3-092	4-100	—	- K	184
	【ム】							
203	本伊平屋節A	2-112	2-115	2-131	5-048	1-195	- K	123
204	本伊平屋節B (下出)	—	—	—	—	1-199	- -	↓
205	本大浦節	3-062	3-065	3-079	5-056	2-030	- K	195
206	本嘉手久節	1-061	1-052	1-032	1-049	1-077	- K	—
207	本散山節	1-042	1-042	1-031	1-032	1-038	Y K	244
208	本田名節	1-056	1-058	1-035	1-054	1-051	Y K	103
209	本花風節	1-062	1-079	2-090	1-066	1-074	- K	118
210	本部長節	1-051	1-050	1-062	1-027	1-048	Y K	229
211	むんじゅる節	3-054	3-055	3-033	3-115	2-232	- -	—
	【メ】							
212	前之浜節	3-030	3-031	3-011	3-104	2-056	- K	—
213	前之田節A	—	—	—	4-022	2-262	- K	—
214	前之田節B (別曲)	—	—	—	—	2-263	- -	—
	【ヤ】							
215	やえんさ節	—	—	—	4-108	2-200	- K	197

	(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(古)	(全)
216 屋慶名古梯斯節	4-065	4-020	1-030	1-069	2-225	- K	068
217 屋慶名節	3-024	3-025	3-066	5-052	2-050	*Y K	159
218 やぐざい節	—	—	—	—	2-199	- K	—
219 柳節	2-082	2-083	2-093	2-015	1-165	Y K	195
220 やりくぬし節	4-044	4-049	3-039	3-098	2-154	Y K	028
【 ユ 】							
221 夜雨節	3-043	3-042	3-006	3-090	2-045	- K	295
222 与儀前之田節	4-060	4-016	1-071	1-073	2-147	- K	—
223 世栄節	4-001	4-001	1-067	1-060	2-052	- K	177
224 ゆしゃいのう節	3-011	3-013	1-089	3-016	2-006	Y K	154
225 与那覇節	—	—	—	—	2-224	- K	—
226 与那原節	3-032	3-033	3-013	3-106	2-059	Y K	161
227 与那節	3-061	3-066	3-087	4-070	2-081	Y K	168
228 ゆらていく節	4-069	4-083	—	4-104	2-220	- K	188
229 読谷山節	—	—	—	4-028	2-226	- K	—
【 シ 】							
230 昔嘉手久節	2-079	2-080	1-061	2-091	1-162	Y K	098
231 昔田名節	4-048	4-011	—	4-048	1-086	- K	103
232 昔蝶節	2-031	2-034	2-051	2-054	1-120	*Y K	243
233 港越節	4-009	4-037	3-041	3-062	2-172	- K	290
234 港原節	1-026	1-059	1-020	1-030	1-029	Y K	171
235 稲摺節	—	—	—	4-024	2-227	- K	184
236 稲真積節	2-100	2-105	2-011	2-033	1-184	*Y K	122
237 芋之葉節	1-065	1-074	2-036	1-017	1-061	Y K	095

第三表 琉謡詞章一覽

凡 例

① この表は、工工四現行諸本に掲載されている詞章を一覧するための表である。
なお参考のために、その詞章の「琉歌全集」における収載状態を付記した。

② この表には、次の諸項目を、次の順序で掲げた。

曲目番号	第一表「琉謡曲目一覧」の通し番号に合わせた。
曲目名称	第一表「琉謡曲目一覧」の見出しの名称に合わせた。
詞章番号	曲目ごとに1・2・3で示した。
詞章内容	詞章の冒頭の部分を記した。
所在記号	◎○△*×↓等を用い、必要に応じて注記を添えた。

③ この表に用いた諸本の略号は、次のとおりである。

(協) 協会本	野村流音楽協会で現在使用の工工四
(保) 保存会本	野村流古典音楽保存会で現在使用の工工四
(祖) 祖慶本	野村流古典音楽保存会所属の祖慶剛著の横書き工工四
(統) 統絃会本	野村流松村統絃会で現在使用の工工四
(安) 安富祖本	安富祖流絃声会で現在使用の工工四
(全) 琉歌全集	島袋盛敏・翁長俊郎が著した琉歌の集成

④ 詞章内容の記載部分は、次のように定めた。

(ア) 琉歌体の詞章は、第一句の上半句8音節を記す。

(イ) 仲風体の詞章、その他和文体七五調で始まる詞章は、第一句の全体(7・5音節または5・5音節)を記す。

(ウ) 和文体八八調で始まる詞章は、第一句の上半句8音節を記す。

(エ) その他の特殊な詩型の詞章は、上記各項に準じて記す。

(オ) 同一曲目の異文詞章で、冒頭部分が一致するものは、両者の相違が現れる最初の語を、次のように付記する。

何々がなにやー何なに	冒頭部分に引き続いて現れる相違の語
何々がなにや・何なに	冒頭部分から隔たって現れる相違の語

なお、助詞その他小部分の語を置き換えたものは、異文詞章として別に立てなかった。

⑤ 所在記号は次のように定めた。

(7) 工工四諸本の場合

- ◎ 基本詞章 三線の譜に添えられた詞章
- 代替詞章 三線の譜の別欄に列挙された詞章
- △ 別掲詞章 上記の詞章とは別に、説明付きで掲げられた詞章
ただし重要でないものには省いたものもある
- ・ 非掲載詞章 その本には掲載されていない詞章
- 非掲載曲目 その本には掲載されていない曲目

(i) 「琉歌全集」の場合

- ◎ 筆頭詞章 各曲目の筆頭に掲げられた詞章
- 続掲詞章 筆頭詞章の次に続けて列挙された詞章
- * 別出詞章 当該曲目以外の曲目の詞章として、または「吟詠の部」「組踊歌補遺」の部分の詞章として掲げられているもの
この場合は曲目名または部分名を略記して添えた
- × 類似詞章 前項に相当する詞章で、類似した異文の詞章
この場合も同様の略記を添えた
- ↓ 非独立詞章 前掲の詞章と合わせて一首のように記されている詞章
- 非 非琉歌詞章 琉歌体でも仲風体でもない詞章なので、「琉歌全集」には当然含まれないもの
- (空白) 収載の有無を確認していない詞章

⑥ 上記五本の工工四に掲げられていない詞章で、踊りの地謡に常用されている詞章があるときは、それも参考のために掲げた。この場合は、所在記号の代わりに踊りの演目名を記した。なお、同様の例でも、組踊専用の詞章は掲げなかった。

琉 謡 詞 章 一 覧

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)	
001	赤木名節	1 赤木名鳥小が	—	—	—	◎	◎		
002	赤さ古巴梯斯節	1 赤さ古巴梯斯や	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 御掛きぶせ御代の	○	○	○	・	・	○	
		3 照る太陽の如に	○	○	・	・	・	・	*金武
		4 思子守なじき	・	・	○	・	○	○	
003	あがさ節	1 深山蜘蛛でんし	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 認掛きて伽や	○	○	・	・	・	○	
		3 杵の糸認に	○	・	・	・	・	・	*干瀬
004	赤田花風節A	1 霰さらさらと	◎	○	○	・	○		
		2 梅でんし雪に	○	◎	◎	◎	◎	◎	
005	赤田花風節B	1 花と露の縁	—	◎	—	—	—	×嘉手	
006	赤田風節 (別曲)	1 語いたや 語いたや	◎	◎	○	・	○	○	*仲風
		2 赤田門や 詰るとも	○	○	◎	◎	◎	◎	*仲風
		3 暮らさらぬ 何が斯ねる	○	・	・	・	・	・	*仲風
		4 成らぬかや 成らぬかや	・	・	・	・	・	○	*吟詠
007	暁節	1 暁や成ゆい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 惜しむ夜や更きて	○	○	・	・	○	○	*瓦屋
		3 語らても互に	○	○	・	・	○	○	
008	赤山節	1 赤山のふえ先	—	—	—	◎	◎		
		2 離家くだみ石や	—	—	—	○	○		
		3 干瀬打ちゆる波や	—	—	—	○	・		
		4 さらば天川や	—	—	—	○	○		
009	東江節A (本調子)	1 東赤がりば	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 涙より外に	○	・	・	・	・	・	*揚七
		3 義理と思て互に	○	・	・	・	○	○	
		4 産し子ふ別りて	・	○	△	・	・	○	
		5 朝夕守育て	・	・	・	・	○	○	
010	東江節B (二揚)	1 義理と思て二人	◎	◎	◎	・	◎	◎	*組踊
		2 朝夕守育て	・	・	・	◎	・	○	
		3 訪りも成らぬ	・	・	・	・	○	○	×吟詠
011	東江節C (アキ)	1 アキ、夢がやゆら	◎	◎	◎	・	◎		
		2 アキ、生ちち居たみ	○	○	○	◎	○		

		(協) (保) (祖) (統) (安) (全)						
012	東 里 節	1 豊かなる御代の	◎	◎	○	・	○	*揚作
		2 秋や色々の	○	・	・	・	・	*平敷
		3 肝の持成しや	○	○	◎	◎	◎	*仲村
		4 弥勒世の昔	・	・	・	・	○	*吟詠
013	揚 口 説	1 げにや都の 春の空	◎	◎	◎	◎	◎	非
014	揚 七 尺 節	1 涙より他に	◎	◎	◎	—	◎	◎
		2 朝夕斯に苦しゃ	○	○	○	—	○	×宇地
		3 ちりなさや二人	○	○	・	—	・	○
015	揚 沈 仁 屋 久 節	1 按司添が御舟の	◎	◎	◎	◎	◎	*沈仁
		2 面花咲かち	○	・	○	・	○	*かじ
		3 親子振逢ちやる	○	○	○	◎	○	*沈仁
		4 沈や伽羅点す	・	○	・	・	・	*沈仁
016	揚 高 祢 久 節	1 高祢久に登て・片帆舟	◎	◎	◎	○	◎	*高祢
		2 高祢久に登て・真加が	・	・	○	・	・	*高祢
		3 認め掛き満ちて	△	○	・	・	○	*さあ
		4 日も暮りて行ちゅい	△	○	・	・	・	*百名
		5 春に浮かさりて	・	・	○	◎	○	*謝敷
017	揚 作 田 節	1 豊かなる御代の	◎	◎	○	・	◎	◎
		2 双葉から出じて	○	○	◎	◎	○	○
		3 朝夕嗜だる	○	・	・	・	○	○
		4 武士の身や空に	・	・	・	・	○	*早作
018	揚 芋 之 葉 節	1 里が張て呉たる	—	◎	◎	◎	◎	*芋之
		2 芋の葉の露や	—	○	○	・	・	*芋之
019	安 里 屋 節A (本調子)	1 安里屋のくやまに	—	—	—	—	◎	非
		2 目差主に望まれ	—	—	—	—	○	〃
020	安 里 屋 節B (二揚)	1 安里屋のくやまに	—	—	◎	—	—	非
		2 目差主の乞ゆだら	—	—	○	—	—	〃
		3 目差主や吾なんば	—	—	○	—	—	〃
021	遊 子 持 節	1 よういよい 泣くなよう	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 我が按司の 舞い御衣	○	○	○	○	○	〃
		3 八股の 内によ	○	○	○	○	○	〃
		4 粟束の 内によ	○	○	○	○	○	〃
		5 置き晒し 為ちゃんよう	○	○	○	○	○	〃
		6 泣かなりば 呉ゆんどう	○	○	○	○	○	〃

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
022	遊 諸 鈍 節	1	でいかよ押連りて	◎	◎	—	◎	◎ ◎
023	遊 しょんがね節	1	面影のでんし	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2	遊び面影や	○	○	○	○	・ *吟詠
		3	朝間夕間通て	・	○	・	・	・ ○
		4	夜走らす舟や	・	・	○	・	・ *小浜
		5	鳳仙花の花や	・	・	○	・	・ *吟詠
024	天 川 節	1	天川の池に	◎	◎	◎	◎	◎ *島尻
		2	天川の池や	○	○	・	・	○ ◎
025	綾 蝶 節	1	斯ねる御座敷に	◎	◎	◎	◎	◎ *蝶小
		2	窄で居る花に	○	○	○	○	○ ◎
026	安 波 節	1	嘉例吉の遊び	◎	◎	○	◎	◎ *ゆら
		2	安波のまはんたや	○	○	◎	・	・ ○
		3	夜の明きて太陽や	・	・	・	○	○ *ゆら
027	伊 江 節	1	東うち向かて	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2	蘭の匂心	○	○	○	・	・ ○
		3	菊見為ち戻る	○	・	・	・	・ *伊豆
		4	沈や伽羅とうみて	・	・	○	・	・ ○
028	江 佐 節	1	嘉例吉の御舟に・波も	◎	◎	・	◎	◎ ×かじ
		2	嘉例吉の御舟に・旅の	・	○	◎	・	・ ◎
		3	嘉例吉の御舟の—渡中	○	○	○	・	○ *かじ
029	石 之 屏 風 節	1	石の屏風立てて	◎	◎	—	◎	◎ ◎
		2	舟浮古巴梯斯や	○	○	—	・	○ ○
030	伊 集 之 木 節	1	あの伊集の花や	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
031	伊 集 早 作 田 節	1	蘭の匂心	◎	◎	◎	◎	◎ *伊江
		2	月夜や月夜と思て	○	○	○	・	○ ◎
		3	柳葉の露や	○	○	・	・	・ ×吟詠
		4	走川の如に	・	・	○	・	・ *中作
032	石 之 根 之 道 節	1	石根の道から	◎	◎	◎	◎	◎
		2	張水に下りて	○	○	○	○	○
		3	目のしゃいや主の前	○	○	○	○	○
		4	打鳴らし鳴らし	○	○	○	・	・ *宮城
033	伊 豆 味 節	1	菊見為ち戻る	◎	◎	—	—	◎ ◎
034	伊 計 離 節 ^A (本調子)	1	行きば伊計離	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2	平安座前の浜に	○	○	○	○	○ ↓

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
		3 平安座美童の	○	○	○	○	・	○
		4 機草得て何為が	○	○	○	○	・	↓
		5 離家行じ童	○	○	○	○	・	○
		6 手巾呉いる里や	○	○	○	○	・	○
		7 勝連の島や	・	○	○	・	○	*勝連
035	伊 計 離 節B (二揚又三下)	1 勝連の島や	—	—	—	—	◎	*勝連
		2 津堅渡の渡中	—	—	—	—	○	*津堅
		3 平安座美童の	—	—	—	—	○	○
		4 機草得て何為が	—	—	—	—	○	○
036	池 当 節	1 春や野も山も	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 散りて根に帰る	○	○	○	・	○	○
		3 池当の穴や	○	○	○	・	・	◎
037	出 砂 節	1 出砂の齋部や	◎	◎	◎	○	◎	◎
		2 笠や雨降いの	○	○	・	・	・	○
		3 笠に散り止まる	○	○	○	◎	○	○
		4 出砂のたくや	・	・	・	・	○	○
038	今 風 節	1 語いたや 語いたや	◎	◎	◎	◎	◎	*仲風
		2 鳥声さへ 恨みしに	○	・	・	・	○	*仲風
		3 行き暮りて 深山路に	○	・	・	・	○	*仲風
039	永 良 部 節	1 秋毎に見れば	◎	◎	◎	◎	◎	*吟詠
		2 年や立ち返て	○	○	○	・	○	*吟詠
		3 でいかよ思童	・	・	○	・	○	↓
040	上 原 之 島 節	1 吾が島の 上原の	—	—	—	—	◎	非
041	浮 島 節	1 遊びぶしゃあても	◎	◎	◎	・	○	○
		2 道々の巷	○	○	・	・	○	*弥勒
		3 弥勒世の昔	○	○	○	・	・	*弥勒
		4 今日や御行逢拜で	・	・	○	◎	◎	*南岳
042	宇 地 泊 節	1 宇地泊真砂	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 成りよう成り茄子	○	・	・	・	・	*ちる
		3 朝夕斯に苦しゃ	・	○	○	○	○	○
043	打 豆 節	1 打豆と真豆	◎	◎	—	◎	◎	◎
		2 尾持ちちくがる毛に	○	○	—	・	・	×通水
044	踊 古 巴 梯 斯 節	1 古巴梯斯の御月	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 打鳴らし鳴らし	○	○	○	○	○	*宮城

(協)(保)(祖)(統)(安)(全)

		3 鳴らす四竹の	○	・	○	・	・	○	
045	踊とうがに節	1 道の清らさや	—	—	—	—	◎	非	
		2 手巾の長さや	—	—	—	—	○	〃	
		3 汝が家と吾達が家と	—	—	—	—	○	〃	
		4 宮古から舟出	—	—	—	—	○	〃	
		5 沖縄い参らば	—	—	—	—	○	〃	
		6 泣かぬ鳥の	—	—	—	—	○	〃	
046	大兼久節	1 名護の大兼久	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 名護の番所	○	○	○	・	○	○	
		3 だんじゅ響動まりる	○	○	○	・	・	○	
		4 馬よ引返し	○	○	○	△	・	*恩納	
047	大田名節	1 大田名の嫁や	◎	◎	◎	◎	◎	○	
		2 石原あさ道や	○	○	○	・	○	○	
		3 あさ道がい参ら	○	・	○	・	○	○	
048	大浦節	1 まくとう名に立ちゆる	◎	◎	◎	◎	◎		
		2 沖の網舟の	○	○	○	◎	○		
		3 道急ぐ人も	○	○	○	◎	○		
049	うふんしゃり節	1 隣の耳切り 鼻欠き	◎	◎	◎	◎	◎	非	
050	うみやから節	1 遊び染み馴りて	◎	◎	◎	◎	◎	*原吉	
		2 うみやからに惚りて	○	○	○	○	○	◎	
051	小禄豊見城節	1 小禄豊見城 垣花三村	—	—	—	—	◎	非	
		2 潮平兼城 糸満と三村	—	—	—	—	○	〃	
		3 内泊泊 元の泊と三村	—	—	—	—	○	〃	
052	萩堂口説	1 北山崩のその時	◎	◎	◎	◎	◎	非	
053	恩納節	1 恩納松下に	◎	◎	◎	◎	○	◎	
		2 恩納岳登て	○	・	○	・	◎	○	
		3 先年と変て	○	・	○	△	○	○	
		4 明日からの明後日	・	○	・	・	・	○	
		5 七重八重立てる	・	△	○	○	・	○	
		6 逢わぬ徒らに	・	△	○	○	・	○	
054	通水節	1 通水の山や	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 若夏が成りば	○	・	・	・	・	○	
		3 諸見や首里親国	○	・	・	・	・	○	
		4 三月が成りば	・	○	△	・	○	○	

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)	
055	かじゃでい	風節	1	◎	◎	◎	◎	◎	*仲節
			2	○	○	△	・	・	◎
			3	○	・	○	・	・	○
			4	・	・	○	△	・	○
			5	・	・	・	・	○	*揚作
			6	・	・	△	△	○	○
			7	・	・	△	△	・	
			8	・	・	△	・	・	*吟詠
			9	・	・	△	△	・	
			10	・	・	△	△	・	
			11	・	・	△	・	・	
			12	・	・	△	・	・	*吟詠
			13	眺みても飽かぬ					
056	垣	花節	1	◎	◎	◎	◎	◎	*特牛
			2	○	○	○	・	○	◎
			3	○	○	・	・	・	○
			4	・	・	○	・	・	○
			5	・	・	・	・	○	*沈仁
057	勝	連節	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			2	○	○	○	○	○	○
058	かなよう	節	1	—	—	◎	◎	◎	○
			2	—	—	○	○	○	○
			3	—	—	○	○	○	○
			4	—	—	○	○	○	◎
059	川	平節	1	◎	◎	・	・	◎	◎
			2	○	○	・	・	・	
			3	・	・	◎	◎	・	
			4	・	・	・	・	○	
060	亀	甲節	1	◎	◎	—	◎	◎	◎
			2	・	・	—	○	・	
			3	○	・	—	・	○	*吟詠
			4	・	○	—	・	・	*吟詠
			5	・	・	—	○	・	
			6	・	・	—	○	・	

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
061	瓦屋節	1 瓦屋頂登て	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 でいかよ押連れて	○	・	・	・	・	*遊諸
		3 惜しむ夜や更けて	○	○	◎	○	○	○
		4 押す風も今日や	・	・	○	◎	○	○
062	かんちゃい節	1 敵討ち取たる	◎	◎	—	—	◎	◎
		2 御世継よ召しよち	○	・	—	—	○	*しらい
063	漢那節	1 畦越いる水や	—	—	—	◎	◎	非
		2 首里に響動まりる	—	—	—	○	○	〃
		3 唐船どういさんてまん	—	—	—	○	○	〃
		4 上に響動まりる	—	—	—	○	・	〃
		5 島尻真壁の	—	—	—	・	○	〃
064	子持節	1 誰よ恨みとて	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 泣くがなし泣ちも	○	○	○	・	○	*東江
		3 細波の立ていば	○	○	○	・	・	*坂本
		4 つれなさや思い	・	・	○	・	・	*仲間
		5 月や知り召しえら	・	・	○	・	・	*干瀬
		6 照り清らさ有ても	・	・	・	・	○	*仲間
		7 深山咲く蘭の	・	△	・	・	・	○
		8 夢に訪にても	・	△	・	・	・	○
		9 何がよ山嵐	・	△	・	・	・	*散山
		10 無情の山嵐や	・	△	・	・	・	*散山
065	越来節	1 越来間切に 有たる事	—	—	◎	◎	◎	非
066	御縁節	1 御縁有て弟じゃ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 行逢たるい弟じゃ	○	○	○	・	○	×中作
		3 嘉例吉の遊び	○	○	○	・	・	×ゆら
		4 わした山川や						「鳴子踊」
067	特牛節	1 常磐なる松の	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 御慈悲ある故ど	○	○	○	・	○	○
		3 巡て春来りば	○	○	○	・	・	○
		4 大西の特牛や	・	・	○	・	○	◎
068.1	口説(上り)	1 旅の出立ち 観音堂	◎	◎	◎	◎	◎	非
068.2	(下り)	1 さていむ旅寝の 仮枕	・	○	○	◎	○	〃
068.3	(万歳)	1 親の敵を 討たんてい	・	・	○	◎	◎	〃
068.4	(十番)	1 さていむ此世に 生まりたる	・	・	・	・	○	〃

		(協)(保)(祖)(統)(安)(全)						
068.5	(孝行)	1 凡そ世間に 居る人や	・	・	・	・	○	〃
068.6	(八重瀬)	1 さていむ移りば 変り行く	・	・	・	○	・	〃
068.7	(久志)	1 命限りの 出立ちに	・	・	・	○	・	〃
069	九年母木節A	1 九年母木の下居てあんし	—	—	—	◎	◎	
		2 九年母木の下居て今帰仁	—	—	—	○	・	
		3 花ぶり二才達が…為ざま	—	—	—	○	・	
		4 花ぶり二才達が…美童	—	—	—	○	・	
		5 花ぶり二才達が…花染	—	—	—	○	・	
070	九年母木節B (別曲)	1 嘉例吉の遊び	—	—	—	—	◎	*ゆら
		2 夜の明きて太陽や	—	—	—	—	○	*ゆら
071	久仁屋節	1 久仁屋の細鍋が	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 脇文字親部が	○	○	○	・	○	○
		3 誰が宿がやゆら	○	・	○	・	・	*瓦屋
072	此歌三線節	1 今日や御行逢拜で	—	—	—	—	◎	
073	小浜節A (本調子)	1 小浜てる島や—だんじゅ	◎	—	—	—	◎	◎
		2 大岳に登て	・	—	—	—	○	○
074	小浜節B (二揚)	1 小浜てる島や—果報の	—	◎	◎	—	◎	○
		2 小浜てる島や—行ぶしゃ	—	○	・	—	○	
		3 大岳に登て	—	○	○	—	○	○
		4 稲粟の色や	—	○	○	—	○	*吟詠
075	小浜節C (二揚下出)	1 沖繩かい行めら	—	—	—	—	◎	○
		2 主の前御船送て	—	—	—	—	○	*しん
076	久米阿嘉節	1 阿嘉の髭水や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 小瓶小の御酒	・	○	○	・	・	○
		3 儀間と嘉手刈や	・	・	・	・	○	
077	久米はんた前節	1 久米の五葉の松	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 はんた前の下い	○	○	・	○	○	*中城
		3 真謝と真仲地や	○	○	○	○	・	*吟詠
		4 阿嘉の髭水や	○	・	・	・	・	*久阿
078	子守節	1 姉が守り ふらうわさば	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 八尋屋の 主なり	○	○	・	・	○	〃
		3 八尋屋の 嫁なさや	・	・	○	○	・	〃
079	御物奉行節	1 国頭に響動む	—	—	—	◎	◎	
		2 月ばなく羽地	—	—	—	○	・	

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
			3	—	—	—	○	・
080	小六節		1	◎	○	○	◎	◎ 非
			2	・	◎	◎	○	・ *沈仁
			3	・	・	・	・	○ 非
081	黒島節		1	◎	◎	◎	・	・ *港越
			2	○	○	○	・	◎ *沈仁
			3	○	○	・	・	○ *蝶小
			4	・	・	○	◎	・
082	桑挽節A	(本調子)	1	—	—	—	—	◎
083	桑挽節B	(三下)	1	—	—	—	◎	—
			2	—	—	—	○	—
			3	—	—	—	○	—
			4	—	—	—	○	—
084	くんぬはし節		1	—	—	—	—	◎ *宮城
			2	—	—	—	—	○ *踊古
085	古見之浦節A	(二揚)	1	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
			2	・	・	○	・	・
			3	○	○	・	・	○ *仲順
			4	○	○	○	○	・ ○
			5	・	・	・	○	・
			6	・	・	・	○	・
086	古見之浦節B	(一揚)	1	—	—	—	—	◎
			2	—	—	—	—	○
087	さあさあ節		1	◎	◎	○	・	◎ ◎
			2	・	・	◎	◎	・ ○
088	さいよう節		1	◎	◎	◎	◎	◎ *南岳
			2	・	○	○	・	・ *吟詠
089	坂原口説		1	◎	◎	○	・	・ 非
			2	○	○	・	・	・ "
			3	○	○	◎	◎	◎ "
			4	・	・	○	○	○ "
			5	・	・	○	・	・ "
			6	・	・	・	◎	・ "
090	坂本節		1	◎	◎	◎	◎	◎ ◎

				(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
			2 細波の立ていば	○	・	○	・	・	○
			3 波の声も無らぬ	○	・	○	・	○	○
			4 御万人や揃て	・	○	・	・	・	*松本
091	崎	山	節	1 崎山よ新村よ	◎	◎	—	◎	◎ 非
			2 波照間の下	○	○	—	・	○	〃
			3 何の故如何の	○	・	—	○	○	〃
			4 与那国口の	○	・	—	・	・	〃
			5 誰と誰じりとうじりでい	・	・	—	・	○	〃
			6 たんでいとうとう美御前	・	・	—	・	○	〃
			7 吾が心肝心	・	・	—	・	○	〃
092	さ	っ	く	節	1 阿旦垣でんし	◎	◎	—	◎ — ◎
093	散	山	節	1 誠かや実か	◎	◎	◎	◎	◎ ○
			2 朝間夕間通て	○	○	・	・	・	*遊じよ
			3 嵐声のあらば	○	○	○	・	・	○
			4 頼む月影の	・	・	○	・	・	*吟詠
			5 何がよ山嵐	・	△	・	・	○	◎
			6 誰が先成ゆら	・	・	・	・	○	○
			7 無情の山嵐や	・	△	・	・	・	○
094	数	珠	節	1 恵ある御代の	◎	◎	—	◎	◎ ◎
			2 波の声も止まり	○	・	—	・	○	*辺野
			3 胸にある鏡	・	○	—	・	・	○
095	四	季	口	説	1 さてもめでたや 新玉の	◎	◎	◎	◎ ◎ 非
096	七	尺	節	1 七算と廿算	◎	◎	○	○	◎ ◎
			2 梓の糸総に	○	○	◎	◎	○	*干瀬
			3 総掛きて伽や	○	○	○	◎	○	*あが
097	節		節	1 節々が成りば	◎	◎	◎	・	◎ ◎
			2 初春に成りば	○	○	・	・	○	○
			3 思事の有ても	○	○	・	・	・	*仲間
			4 春や花盛り	・	・	・	◎	・	
098	じ	っ	そ	う	節	1 思ゆらば里前	◎	◎	◎ ◎ ◎ ◎
			2 久高前の浜に	○	・	・	・	○	*吟詠
099	砂	持	節	1 阿良の細砂や	・	◎	◎	◎	◎ ◎
			2 伊江の大麦や	・	○	○	○	・	
			3 原やはんた原	・	○	○	○	○	*吟詠

		(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)		
		4	真謝原の芋や	・	○	○	○	・	*吟詠
		5	原出じて見りば	・	・	・	・	○	
100	島尻天川節	1	打鳴らし鳴らし	—	◎	—	・	・	*宮城
		2	天川の池や	—	・	—	◎	◎	*天川
101	島尻千鳥節	1	馴りし面影や	—	—	—	—	◎	×金武
		2	沙汰が為ち呉ゆら	—	—	—	—	○	
102	謝敷節	1	謝敷板干瀬に	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	梅と鶯や	○	○	○	・	○	○
		3	春や野も山も	○	・	・	・	・	*池当
		4	糸目から針目	・	・	・	・	○	*吟詠
103	しやぶう節	1	赤田首里殿内	—	—	—	・	◎	
		2	四月が成りば	—	—	—	△	・	
104	じゃんな節	1	昔事やしが	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	昔繰戻ち	○	○	○	・	○	○
		3	六七十成ても	○	・	・	・	・	*作田
		4	睦り遊びゝたる	・	・	・	・	○	○
105	首里節	1	籬箆まで居りば	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	玉の御簾垂や	○	○	○	・	○	○
		3	蜻蛉羽根御衣や	○	○	○	・	○	○
		4	城から下りて	・	・	・	・	○	○
106	十七八節	1	夜寂の成りば	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	夜しじかり成りば	・	・	・	・	○	
107	しゅうらあ節	1	眺みても飽かぬ	◎	◎	—	◎	◎	*しゅうらい
		2	例い物事に	・	○	—	・	・	*しゅうらい
108	しゅうらい節	1	今日や御行逢拜で	◎	◎	—	◎	◎	*南岳
		2	御祝事続く	・	・	—	・	○	
109	述懐節A (本調子)	1	さらば立ち別ら	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	飽かぬ別り路や	○	・	・	・	・	*吟詠
		3	別り路の詰みて	○	・	・	・	・	×述懐
		4	如何ならわんままよ	・	○	・	・	・	○
		5	靡くなよ余所の	・	○	○	・	・	○
		6	睦り行く先や	・	・	○	・	・	○
		7	拜で懐かしや	・	・	・	・	○	○
		8	如何し忘りゆが	・	・	・	・	○	

				(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)	
110	述	懐節B (本調子下出)	1	いな昔成るい	◎	◎	◎	◎	—	○
111	述	懐節C (二揚)	1	拜で懐かしや	◎	◎	◎	◎	○	○
			2	さらば立別ら	○	○	○	・	◎	◎
			3	御衣の袖とやい	○	△	・	・	・	
			4	義理と思て恋路	・	○	・	・	・	○
			5	陸り行く先や	・	・	○	・	・	
			6	如何ならわんままよ	・	・	・	・	○	×述懐
			7	あまり甚く鳴くな	・	△	・	・	・	○
			8	御側居てでんし	・	△	・	・	・	○
112	述	懐節D (二揚下出)	1	いな昔成るい	◎	◎	◎	△	・	○
			2	朝夕さも御側	○	○	○	◎	◎	○
			3	御側居てでんし	・	・	○	・	○	○
113	諸	鈍節	1	枕並びたる	◎	◎	◎	◎	◎	○
			2	諸鈍美童の	○	○	・	・	○	◎
			3	諸鈍長浜に	○	○	・	・	○	*しゅん
114	取納奉行節		1	息込しゅる取納奉行	—	—	—	○	◎	
			2	小禄豊見城	—	—	—	◎	・	
115	しゅんどう節		1	諸鈍長浜に	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			2	諸鈍美童の	○	○	○	◎	○	*諸鈍
116	しょんがね節A (本調子)		1	今日や御行逢拜で	◎	◎	○	・	○	*南岳
			2	月も眺みたい	○	○	◎	◎	◎	○
			3	別て面影の	・	○	○	△	・	○
117	しょんがね節B (二揚)		1	暇乞いよと思て	◎	◎	—	◎	—	○
			2	片帆持ちゃぎりば	○	○	—	○	—	○
			3	暇乞いも為らば	○	○	—	○	—	○
118	しょんがね節C (二揚上出)		1	暇乞いよと思て	◎	◎	—	◎	—	○
119	白瀬走川節		1	白瀬走川に	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			2	赤糸貫花や	○	○	○	◎	○	○
			3	春の山川に	○	・	○	・	・	○
			4	春の山川や	・	・	・	・	○	○
120	白保節		1	白保村上なか	—	◎	—	△	◎	
			2	首里加那志美物	—	○	—	・	○	
			3	真謝の主ばちかいし	—	○	—	・	○	
			4	朝夕肝留みて	—	・	—	◎	・	

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)	
121	白鳥節	1 御舟の高艫に	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 霰さらさらと	○	○	・	・	○		
		3 若水に面	・	○	・	・	・	○	
		4 此の間の思い	・	・	○	・	・	○	
122	沈仁屋久節	1 城の前のいちゅびゃや	◎	◎	—	◎	◎	*	高覆
		2 春に浮かさりて	○	・	—	・	○	*	謝敷
		3 咲き出たる花の	○	○	—	・	・	×	あが
		4 誰が袖が振たら	・	○	—	・	・	*	高覆
		5 日も暮りて行ちゅい	・	・	—	・	○	*	百名
123	其万歳節	1 伊舎堂前の三本榕樹	—	—	—	◎	◎	◎	
		2 しむなりの九年母	—	—	—	・	○		
124	すりかん節	1 油買うてたぼり	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 阿旦垣でんし	○	○	○	◎	○	*	さく
		3 風車や取りば	・	・	○	・	・	○	
125	下原節	1 今年から始まる	◎	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 鶴と亀との	○	○	○	◎	○	○	非
		3 今日や御行逢拜で	・	○	・	・	・	・	*南岳
126	せんする節	1 京の小太郎が 作たんばい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 東西東西 聞ち召しより	○	○	○	◎	・	・	〃
		3 唐や大和の 珍らし物	・	・	・	◎	・	・	〃
127	大願口説	1 雲霧も 嵐に消えて	◎	○	○	○	◎	◎	非
		2 桜花 梅の匂に	○	◎	◎	◎	・	・	〃
		3 大願し 奉るは	○	○	○	○	・	・	〃
128	高祢久節	1 高祢久に登て	◎	◎	—	◎	◎	◎	
		2 総も掛き満ちて	○	○	—	・	○	*	さあ
		3 日も暮りて行ちゅい	○	○	—	・	・	*	百名
129	高橋節	1 泊高橋に	—	—	—	◎	◎	◎	
130	高離節	1 高離島や	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 霞立つ山や	○	○	○	○	○	*	宮城
131	武富節	1 潮舟剝舟の	◎	◎	・	・	◎	*	本田
		2 なかよ押し連れて-あたい花	・	・	◎	◎	○	○	
		3 なかよ押し連れて-眺やい	・	・	・	△	・		
		4 白瀬走川に	・	・	○	◎	○	*	白瀬
		5 赤糸貫花や	・	・	○	◎	○	*	白瀬

		(協)(保)(祖)(統)(安)(全)						
		6 流りゆる水に	・	・	○	・	○	*吟詠
		7 月も照い清らさ	・	・	・	△	・	*中城
132	竹之葉節	1 沖繩と久米と	—	—	—	◎	◎	
133	立雲節	1 東立ち雲や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 夢やちょん見だぬ	○	○	・	・	・	○
		3 忍び隠りたる	○	○	○	・	○	○
		4 鳥も鳴き初みて	・	・	・	・	○	○
134	たぬむぞ節	1 小学から読で	◎	◎	◎	◎	○	◎
		2 気張てしみ読で	○	○	○	○	○	
		3 美公事勤みて	○	・	○	○	○	
		4 東赤がりば	○	・	・	○	◎	
135	谷茶前節A (本調子)	1 谷茶前の浜に	—	—	—	◎	◎	非
		2 谷茶森小と登て	—	—	—	○	・	〃
		3 二才達や其り取いが	—	—	—	・	○	〃
		4 谷茶てる島や	—	—	—	△	・	〃
136	谷茶前節B (二揚)	1 谷茶前の浜に	—	—	◎	—	—	非
		2 二才達や其り取いが	—	—	○	—	—	〃
		3 其り売ての後の	—	—	○	—	—	〃
137	谷茶前節C (二揚又三下)	1 谷茶前の浜に	—	—	—	—	◎	非
138	津堅節	1 勝連の按司や	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 津堅渡の渡中	○	○	○	・	○	◎
139	作田節	1 穂花咲ち出りば	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 誰がし持成ちゃが	○	○	○	・	○	○
		3 歌と三線の	○	・	・	・	○	○
		4 九重の内に	・	・	○	・	・	*かじ
140	月之夜節	1 月の夜も夜い	—	—	◎	◎	◎	○
		2 行ちんでいや言しが	—	—	○	○	○	◎
		3 里や浮水の	—	—	○	○	○	○
		4 指金の形見	—	—	○	・	○	○
		5 さらばてんがらや	—	—	・	○	・	・
		6 月の夜の間や	—	—	・	・	○	○
141	月夜浜節	1 月や浜だきに	—	—	—	—	◎	
		2 照る太陽も置ちゃて	—	—	—	—	○	
142	千鳥節	1 前の浜の千鳥	—	—	—	—	◎	非

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
143	繫	節	1 あたい芋や續みゃい	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
			2 さやか照る今日や	○	○	・	・	○
			3 潮舟剝舟の	○	・	・	・	・ *本田
			4 あたい芋の中子	・	・	○	・	・ *木綿
144	茶屋	節	1 拜で退かりらぬ	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
145	中作田	節A	1 月夜や月夜と思て	◎	◎	◎	◎	◎ *伊早
			2 行逢たる兄者	○	○	・	・	○ ○
			3 走川の如に	○	○	○	・	○ ◎
			4 冴か照る月に	・	・	・	△	・ *中城
146	中作田	節B	1 走川の如に	◎	—	—	—	— ◎
147	清屋	(別曲)節	1 あたい芋の中子	◎	◎	◎	◎	◎
			2 今日や御座出じて	○	○	・	・	○ ×南岳
			3 だんじゅ嘉例吉や	○	・	・	・	・ *かじ
148	仲順	節	1 別りても互に	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
			2 別て面影の	○	○	・	・	・ ○
			3 情ある露ど	○	・	・	・	・ *仲間
			4 節よ待ち召しより	・	・	・	・	○ ○
149	鶴亀	節	1 千年経る松の	—	—	—	◎	◎ *かじ
			2 神の御恵に	—	—	—	○	・
150	ちるりん	節	1 子孫揃て	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
			2 いかりいかり童	○	・	・	・	・ ○
			3 斯ねる御座敷に	○	○	・	・	・ *蝶小
151	金武	節	1 蒲葵や金武蒲葵に	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
			2 蒲葵の葉どやしが	○	○	○	・	○ ○
			3 照る太陽や西に	○	○	○	・	○ ○
			4 首里親国の慣や	・	・	○	・	○ ○
			5 春の山川に	・	・	・	△	・ *白瀬
152	作たる米	節	1 今年作たる米や	—	—	—	◎	◎ ◎
			2 北風の吹きば	—	—	—	○	○ ○
153	てんよう	節	1 庭の糸柳	—	—	—	◎	◎ ◎
154	とうがに	節	1 汝が家と吾達が家と	◎	◎	—	◎	— ◎
			2 道の清らさや	・	○	—	◎	— ○
			3 宮古から舟出	・	○	—	○	— ○
			4 手巾の長さや	・	○	—	○	— ○

		(協)(保)(祖)(統)(安)(全)						
		5 鳴かぬ鳥の	・	○	—	○	—	○
		6 沖繩い参らば	・	○	—	○	—	○
155	与那国しんがね節A	1 暇乞と思て	—	—	—	—	◎	*しん
156	与那国しんがね節B (別曲)	1 なんと浜下りて	—	—	—	◎	—	
157	長伊平屋節	1 凧の伊平屋岳や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 逢わぬ夜の辛さ	○	・	○	・	・	○
		3 押す風も今日や	○	・	・	・	・	*瓦屋
		4 伊平屋の阿母加那志	・	○	・	・	・	○
		5 伊平屋渡立つ波に	・	・	○	・	・	○
		6 何時し忘りゆが	・	・	・	・	○	○
158	中城はんた前節	1 飛び立ちゆる蝶	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 思成しがやゆら	○	○	○	・	・	○
		3 月も照い清らさ	○	○	○	・	・	○
		4 春や花盛り	・	・	・	・	○	*早作
		5 夏や山川の	・	・	・	・	○	*早作
		6 秋や色々の	・	・	・	・	○	*平敷
		7 冬に何が空や	・	・	・	・	○	*久仁
159	仲里節	1 聞きば仲里や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
160	長じゃんな節	1 首里天加那志と	◎	◎	◎	◎	◎	◎
161	長金武節	1 恋し津波村や	◎	◎	◎	◎	◎	
		2 泊い泊い行ちゆる	・	○	○	◎	○	
		3 歩で歩まらぬ	・	○	○	◎	○	
162	仲泊節	1 あた果報の付ちゃし	◎	◎	—	—	◎	◎
163	仲道節	1 殿ばらまと吾んとや	—	—	—	◎	◎	非
		2 仲道みちから	—	—	—	○	○	〃
		3 月見りば昔の	—	—	—	○	・	〃
164	中之島節	1 親は百歳	—	—	—	—	◎	非
165	仲風節A (本調子)	1 語いたや 語いたや	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 浮世草葉の 露心	○	○	・	・	・	○
		3 寝ても覚めても 肝の願	○	・	・	・	・	○
		4 結ばらぬ 片糸の	・	○	・	・	・	○
		5 待て暫し 語らわに	・	・	・	・	○	○
		6 誠一つの 浮世さめ	・	・	・	・	○	○
166	仲風節B (本調子下出)	1 結ばらぬ 片糸の	◎	◎	◎	◎	—	○

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)	
167	仲 風	節C (二揚)	1 誠一つの 浮世さみ	◎	◎	◎	◎	◎	○
			2 花の木陰に 住み慣りて	○	○	○	・	○	○
			3 暮らさらぬ 忍で来やる	○	○	○	・	・	○
			4 泊まり明石の 浦千鳥	・	△	○	・	・	○
			5 待て暫し 語らわに	・	・	・	・	○	○
168	仲 風	節D (二揚下出)	1 結ばらぬ 片糸の	◎	◎	◎	◎	◎	○
			2 月や昔の 月やしが	○	○	・	・	・	○
			3 語て呉り 恋渡ら	○	・	・	・	・	○
			4 浮世草葉の 露心	・	・	○	・	・	○
			5 語いたや 語いたや	・	・	・	・	○	◎
169	仲	風 節E (本調子別曲)	1 情有て染みて	—	◎	—	—	—	
170	仲	節	1 今日の誇らしゃや	◎	◎	◎	◎	◎	◎
171	仲	間 節	1 吾が身摘で見ちど	◎	◎	◎	◎	○	○
			2 宵も暁も	○	○	○	○	◎	○
			3 思事の有ても	○	○	○	○	○	○
			4 あたら人間に	・	・	・	・	○	○
172	仲 良 田	節	1 仲良田の米も	◎	◎	○	・	◎	◎
			2 でいちゃよ押連りて	○	○	◎	◎	○	*遊諸
			3 大むしゃく作て	○	○	・	・	・	
			4 稲粟ももうらち	・	・	・	・	○	
173	仲 村 渠	節	1 仲村渠側戸	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			2 仲島の浦の	○	・	○	・	・	○
			3 例い仲島や	○	○	○	・	・	○
			4 仲島の小堀	・	・	・	・	○	○
			5 浮世灘安く	・	・	・	・	○	○
			6 義理も踏み違ぬ	・	・	・	・	○	*仲間
174	今 帰 仁 之 城	節	1 今帰仁の城	—	—	—	◎	◎	×今帰
175	南 岳	節	1 今日や御行逢拜で	◎	◎	○	・	◎	◎
			2 今日や御座出じて	・	・	・	◎	・	
			3 押す風も涼しゃ	○	○	○	・	○	*吟詠
			4 打鳴らし鳴らし	・	・	◎	◎	・	*宮城
176	宮 城 古 巴 梯 斯	節	1 打鳴らし鳴らし	◎	◎	◎	◎	◎	◎
			2 十尋屋に居ても	・	・	○	・	・	
			3 春や花盛り	・	・	・	・	○	*早作

		(協)(保)(祖)(統)(安)(全)						
177	伊野波節	1 伊野波の石くびり	◎	◎	○	◎	◎	◎
		2 花や咲き靡りて	○	○	○	・	○	○
		3 逢わぬ夜の辛さ	○	○	◎	△	○	*長伊
		4 何時し忘りゆが	○	・	・	・	○	*長伊
178	布晒節	1 天加那志御用の	—	—	—	◎	◎	
		2 布艶も清らさ	—	—	—	○	○	
		3 繰り返し返し	—	—	—	○	○	
		4 船頭舟子揃て	—	—	—	○	・	
		5 清ら水よ掛きて	—	—	—	・	○	
179	ぬんふり節	1 笠に音立てて	—	◎	—	◎	◎	*港越
		2 弥勒世の昔	—	○	—	・	・	*弥勒
		3 うち晴りて太陽や	—	・	—	・	○	
180	早作田節	1 春や花盛り	◎	◎	○	◎	・	○
		2 南鐘臼中へ	○	○	◎	△	◎	*作田
		3 夏の日も秋の	○	○	○	・	○	○
		4 押す風も今日や	・	・	・	・	○	*瓦屋
		5 夏や山川の	・	・	・	・	○	○
		6 若さ一時の	・	・	○	・	○	◎
		7 い参着かば里前	・	・	・	・	・	*しん
181	はいゆええ節	1 国頭捌理	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 首里天加那志の	○	○	○	・	○	〃
		3 名護山檜木や	○	○	○	○	○	〃
		4 御万人交じりや	○	○	○	○	○	〃
		5 世果報の続ちや	・	○	○	○	・	〃
182	鷺之鳥節	1 綾羽根ば 生らしょうり	—	—	◎	◎	◎	非
		2 正月の 風むでい	—	—	○	○	○	〃
		3 東かい 飛び付け	—	—	○	○	○	〃
183	鳩間節	1 鳩間中森 走い登り	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 かいしゃむりたる 森の蒲葵	・	○	○	○	○	〃
		3 稲穂積付き 面白や	・	・	・	○	○	〃
		4 前の渡ゆ 見渡せば	・	・	・	○	○	〃
184	花風節	1 三重城に登て	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 手巾持揚ぎりば	○	○	○	・	○	○
		3 吾ぬ悲しゃあらば	○	・	・	・	・	○

		(協) (保) (祖) (統) (安) (全)					
		4 今日や何がやゆら	○ ○
		5 百年生延びゆる	○ *吟詠
185	蝶 小 節	1 東打ち向かて	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2 東立ち雲や	.	.	.	○ ○	*立雲
		3 春に浮かさりて	.	.	.	○ .	*謝敷
186	浜 千 鳥 節	1 旅や浜宿り	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2 旅宿の寝覚	○	○	○	◎	○ ○
		3 潮舟剝舟の	○	.	.	.	*本田
		4 渡海や距みても	.	○	○	◎	○ ○
		5 柴木植て置かば	.	○	○	◎	○ ○
		6 馴り面影や	△ ×金武
187	早 嘉 手 久 節	1 嘉手久思鍋が一言付ちの	—	—	—	◎	◎ ◎
		2 嘉手久思鍋が—あやふずの	—	—	—	○	.
		3 七葉あし煙草	—	—	—	○	.
		4 遊び庭のあくた	—	—	—	.	○
188	早 口 説	1 門に立寄り 窺えば	◎	◎	◎	.	◎ 非
		2 さても浮世は 小車の	.	.	.	◎	○ "
189	はやりぐええな節	1 今日のいからしや	◎	◎	—	◎	◎ *世栄
190	辺 野 喜 節	1 伊集の木の花や	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2 波の声も止まり	○	○	○	△	○ ○
		3 幾年よ経ても	○	.	○	.	. ○
		4 打ち重に重に	○ *揚作
		5 嬉し事菊の					「 菊 」 *吟詠
191	比 屋 定 節	1 後生の長旅や	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
192	百 名 節	1 北谷真牛金が	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2 中辺飛ぶ鳥や	○	○	○	○	○ ○
		3 夜も更きて行ちゅい	○	○	.	.	. ○
		4 御側馴り染みて	.	.	○	.	. ○
193	東 細 節	1 東駒踊	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2 明かい棧ばしり	○	○	○	.	○ ○
194	平 敷 節	1 源河走川や	◎	◎	◎	◎	◎ ◎
		2 秋や色々の	○	○	.	.	. ○
		3 源河美童の	○	.	○	.	○
		4 梅や冬籠もり	○ ○

		(協) (保) (祖) (統) (安) (全)						
195	干瀬節	1 里と思は何よで	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 干瀬に居る鳥や	○	○	・	・	○	◎
		3 たまさかの今宵	○	○	○	・	・	○
		4 野山越る道や	・	△	○	・	・	○
		5 朝間夕間通て	・	・	○	・	・	*遊しよ
		6 情有て隠し	・	・	・	・	○	○
		7 情あり童	・	△	・	・	・	○
		8 むしか夜の明きて	・	△	・	・	・	*吟詠
		9 月や知り召しゑら	・	△	・	・	・	○
		10 ただ暫しと思て	・	△	・	・	・	○
		11 七算と甘算	・	・	・	△	・	*七尺
		12 暮らさらんあている				「忍」		
196	松本節	1 獅子や毬連りて	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 御万人や揃て	○	○	○	・	○	○
197	真福地之杯觴節	1 真福地の杯觴や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 繰り返ち結ぶ	○	○	○	・	・	*仲間
		3 染みてあるかなの	○	○	○	・	・	*仲間
198	万歳講主節	1 万歳講主や やんざい講主や	◎	◎	◎	◎	◎	非
199	万寿主節A	1 久高万寿主や	—	—	—	◎	◎	
		2 首里の行ち戻い	—	—	—	○	・	
		3 久高前の浜に	—	—	—	○	・	*吟詠
		4 久高西銘主が	—	—	—	○	・	↓
200	万寿主節B (別曲)	1 久高万寿主や	—	—	◎	—	—	
		2 首里の行ち戻い	—	—	○	—	—	
		3 首里の走馬小や	—	—	○	—	—	
		4 着衣着しれ大綾着付ち	—	—	○	—	—	
		5 島の二才達や	—	—	○	—	—	
201	道輪口説	1 一度栄いば 一度衰う	◎	◎	○	・	◎	非
		2 空も長月 初め頃かや	○	○	◎	◎	◎	〃
202	弥勒節	1 赤田首里殿内	◎	◎	◎	◎	—	◎
		2 道々の巷	・	○	○	・	—	○
		3 弥勒世の昔	・	・	○	・	—	○
		4 四月が成りば	・	・	○	・	—	*しい
203	本伊平屋節A	1 捨てている身が命	◎	◎	◎	◎	◎	◎

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
204	本伊平屋節B (下出)	1 捨てている身が命	◎	◎
205	本大浦節	1 思子取り戻ち	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 大浦港に	○	○	○	.	.	◎
206	本嘉手久節	1 見る花に袖や	◎	◎	◎	○	◎	*屋久
		2 静か馴り染みり	○	○	.	.	.	*仲村
		3 寄合て眺みりば	○	*吟詠
		4 深山鶯の	.	.	○	◎	○	*早作
207	本散山節	1 近さ頼掛きて	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 内や捨ていらりて	○	○	○	.	.	○
		3 染みゆらばとつても	○	○
		4 浅地染みらわも	○	○
208	本田名節	1 潮舟剝舟の	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 里が蜻蛉羽根	○	*昔田
		3 吾が手引しちやる	○	.	○	.	○	◎
		4 真白芋よ晒ち	.	○	.	.	.	*真福
209	本花風節	1 三重城に登て	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 頭結い変わち	○	○	.	.	○	○
		3 名に立ちゆる今宵や	○	○	.	.	○	*中城
		4 有明の空や	○	
210	本部長節	1 検者主したり前	◎	◎	○	◎	◎	○
		2 渡久地から上て	○	○	◎	.	○	◎
		3 首里加那志美公事	.	.	○	○	.	↓
211	むんじゅる節	1 むんじゅる平笠	◎	◎	◎	◎	◎	非
		2 照喜名坂から	○	○	○	◎	○	"
		3 芋のうまさや	○	○	○	◎	○	"
212	前之浜節	1 前之浜に 雪雨の	◎	◎	○	.	.	非
		2 前之浜に 連り飛びゆる	○	○	◎	◎	◎	"
		3 渡ん地の 渡し舟	○	○	○	◎	○	"
213	前之田節A	1 今年前の田の	—	—	—	◎	◎	
		2 今年弥勒世の	—	—	—	○	.	
214	前之田節B	1 今年前の田の	—	—	—	—	◎	
215	やえんさ節 (別曲)	1 縫て遣らちやる	—	—	—	◎	◎	◎
216	屋慶名古屋梯斯節	1 屋慶名古屋梯斯や..屋慶名	◎	◎	◎	◎	◎	*吟詠
		2 屋慶名古屋梯斯や..其りが	.	.	○	.	.	◎

		(協)(保)(祖)(統)(安)(全)						
217	屋慶名節	1 親の為しちやる	◎	◎	◎	◎	◎	○
		2 頼み無ぬ吾身や	○	○	○	・	○	◎
		3 屋慶名古巴梯斯の	・	○	○	・	・	○
		4 今日の誇らしゃや	・	・	・	○	・	
218	やぐざい節	1 うかの泊のやぐじゃまの	—	—	—	—	◎	非
		2 其が隣のやぐじゃまの	—	—	—	—	○	〃
219	柳節	1 柳は緑 花は紅	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 月の盛いは 十五夜盛り	○	○	・	・	○	○
220	やりくぬし節	1 押連りて互に	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 ゆむ面の清らさ	○	○	○	◎	○	○
		3 今日の誇らしゃや	・	・	○	・	・	*仲節
221	夜雨節	1 夜雨の降る年	◎	◎	○	・	・	
		2 稲粟もなうらし	○	○	・	・	・	
		3 豊かなる御代の	○	○	◎	◎	◎	*揚作
		4 打囃す鼓	○	○	○	・	・	
		5 雨露の恵み	・	・	・	・	○	◎
222	与儀前之田節	1 打鳴らし鳴らし	◎	◎	◎	◎	◎	*宮城
223	世栄節	1 今日のいからしや	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 春の花染の	・	・	○	・	・	○
		3 面花咲かち	・	・	・	・	○	*せん
224	ゆしゃいのう節	1 十日越しの夜雨	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 天ん世の昔	○	○	・	・	・	○
		3 弥勒世や目の前	○	・	・	・	・	*浮島
		4 嬉しさや庭の	・	○	・	・	・	○
		5 敵討ち取たる	・	・	○	・	・	○
		6 照る太陽の如に	・	・	・	・	○	*金武
225	与那覇節	1 深山蜘蛛でんし	—	—	—	—	◎	*あが
226	与那原節	1 嘉例吉の遊び	◎	◎	◎	◎	◎	*ゆら
		2 夜の明きて太陽や	○	○	○	◎	○	*ゆら
		3 与那原の親川に	○	○	○	・	・	◎
227	与那節	1 与那の高坂や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 吾がゆだち外ち	○	○	○	・	○	○
228	ゆらていく節	1 嘉例吉の遊び	◎	◎	—	◎	◎	◎
229	読谷山節	1 今日や御行逢拜で	—	—	—	◎	◎	*南岳

			(協)	(保)	(祖)	(統)	(安)	(全)
230	昔嘉手久節	1 茉莉花小花	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 里が庭花や	○	○	○	・	○	*吟詠
231	昔田名節	1 里が蜻蛉羽根	◎	◎	—	◎	◎	◎
232	昔蝶節	1 御夙て起きて	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 東打ち向かて	○	○	○	・	○	○
233	港越節	1 笠に音立てて	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 笠に音無らぬ	○	○	○	・	○	*高離
234	港原節	1 打鳴らし鳴らし	◎	◎	◎	◎	◎	*宮城
		2 春や花盛り	○	・	○	・	・	*早作
		3 初春に成りば	○	○	○	・	・	*宮城
		4 匂に引かさりて	・	・	・	・	○	*宮城
		5 春や花毎に	・	・	・	・	○	*出砂
235	稲摺節	1 南鏡臼中へ	—	—	—	◎	◎	*作田
		2 今年毛作や	—	—	—	○	・	*稲真
		3 粟の揺らりゆみ	—	—	—	○	・	
		4 気張て摺りよう	—	—	—	・	○	
236	稲真積節	1 今年毛作や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 鳴らす四竹の	○	・	・	・	・	*踊古
		3 慰みに取たる	○	・	・	・	・	○
		4 稲や刈広ぎ	・	○	○	・	・	○
		5 打ち囃す竹の	・	・	・	・	○	×踊古
237	芋之葉節	1 芋の葉の露や	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2 一粒ある花の	○	○	・	・	・	*吟詠
		3 安里八幡の	○	・	・	○	・	○